

令和6年度版 環境経営活動レポート

(令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日)

令和7年6月10日発行



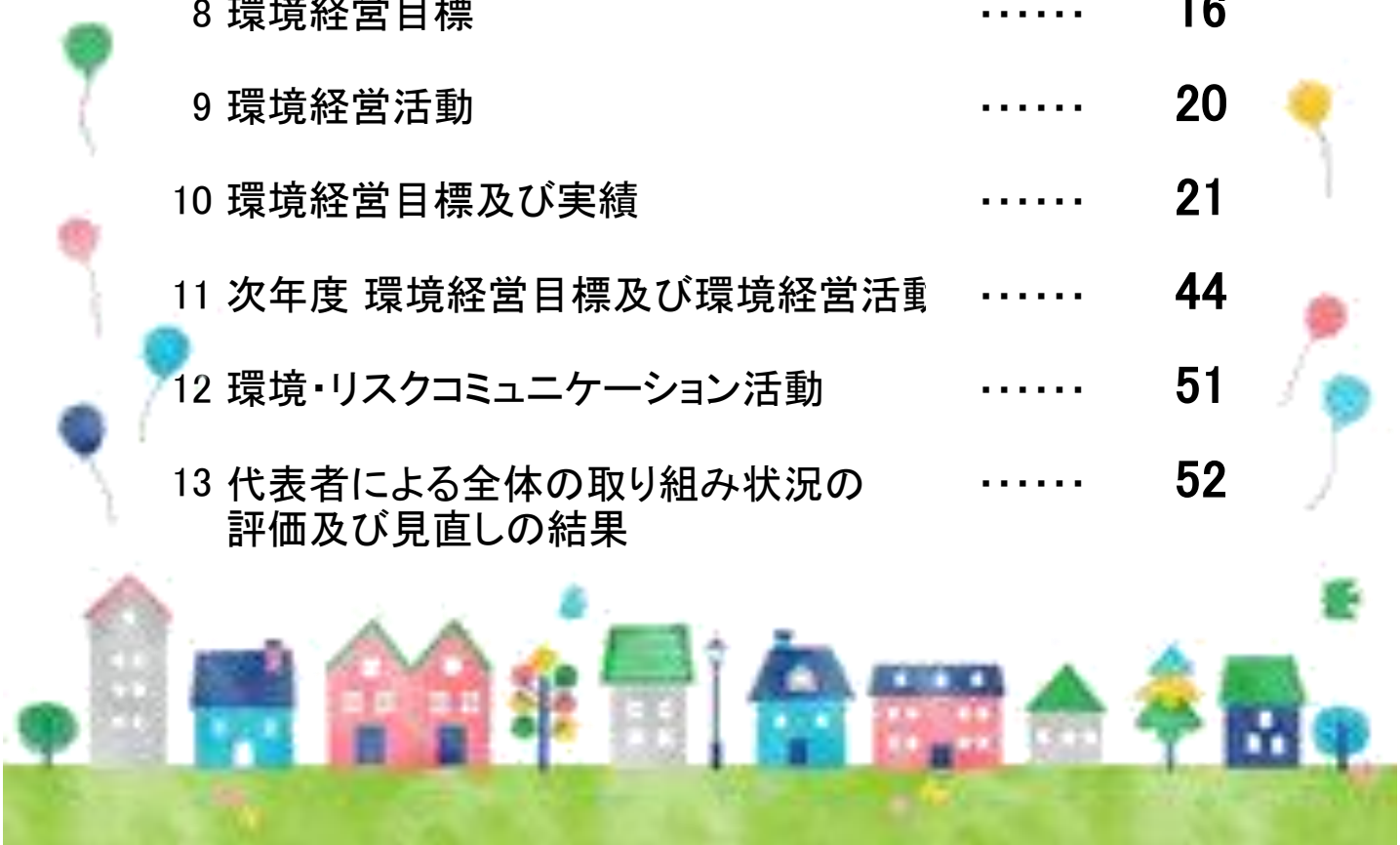
株式会社 坂本工業

産業廃棄物処理業 建造物解体工事



目 次

1 環境経営方針		3
2 組織の概要		4
3 対象活動・組織・許可の内容		5
4 施設の状況		6
5 許可証一覧		11
6 車両一覧他		12
7 処理工程図		14
8 環境経営目標		16
9 環境経営活動		20
10 環境経営目標及び実績		21
11 次年度 環境経営目標及び環境経営活動		44
12 環境・リスクコミュニケーション活動		51
13 代表者による全体の取り組み状況の 評価及び見直しの結果		52



環境経営方針

《基本理念》

我々は、誠実と堅実をモットーに
自然環境との調和のもとで
産業の発展に寄与すると共に、
自己の人格形成に努め
よりよい社会の実現に貢献する。

《行動方針》

㈱坂本工業は、「安心を子どもたちへ……やさしさを地球へ……」
を合言葉に、産業廃棄物処理業に関する事業活動、特に
リサイクル事業の活性化を図るとともに、環境負荷を出来る限り
軽減すべく、積極的に環境保全活動に取り組むと共に
環境経営の継続的改善に努める。

- 1) 環境に関する法律、条例等を遵守した事業活動を行う。
- 2) 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に
可能な範囲で目標を定め、環境保全活動システムの持続的
な向上を図る。
 - (1) 廃棄物受入量についてリサイクル率の向上と
リサイクル製品の品質向上及び使用促進。
 - (2) 重機等の使用の効率化、事務所の節電による二酸化酸素排出量の削減。
 - (3) 廃棄物排出量の削減。
 - (4) 事務所及び処理施設の節水による水使用量の削減。
 - (5) グリーン購入の推進。
- 3) 従業員が事業活動を通して環境保全に貢献できるように
社員教育を行う。
- 4) この環境経営方針は、従業員に周知すると共に、社外にも公表する。

制 定 日：2011 年 10 月 1 日

改 定 日：2020 年 4 月 1 日

株式会社 坂本工業

代表取締役 **坂本達也**

1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 坂本工業
代表取締役 坂本 達也

2) 所在地

- 本社
福岡市東区二又瀬新町 9 番 1 2 号
- 蒲田管理センター
福岡市東区蒲田1丁目22-6
- 蒲田処理センター
福岡市東区蒲田1丁目1440番57外4筆
- 古賀処理センター
福岡県古賀市青柳234-1
- 古賀リサイクルセンター
福岡県古賀市青柳字山見坂223番2
- 新宮リサイクルセンター
福岡県粕屋郡新宮町大字的野字長浦737-56

3) 設立年月日

昭和53年9月1日

4) 資本金

3,000万円

5) 事業の内容

産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物中間処理業、建設業（とび・土工工事業、解体工事業）、最終処分場の維持管理

6) 事業の規模

令和7年3月31日現在

事業所名	規模	中間処理 受託量 (t)	収集 運搬量 (t)	売上高 (百万円)	従業員 (人)	床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
本社		—	—	—	4	307.88	—
蒲田管理センター		—	93,520.57	2,113	36	200	1092
蒲田処理センター		72,069.54	—	—	42	199.5	10095
工事部		—	—	—	1	—	—
古賀処理センター		2,597.34	—	—	2	705.97	11,385
古賀リサイクルセンター		4,331.13	—	—	2	298	1755
新宮リサイクルセンター		22,703.87	—	17	5	2961.18	4551.01

5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理担当責任者 吉野 誠一
担当者(事務局長) 安里 宣之
連絡先

(TEL) 092-691-2530
(FAX) 092-691-2532
(E-mail) sakamoto-eigyuu@dolphin.ocn.ne.jp



2.対象活動・組織・許可の内容

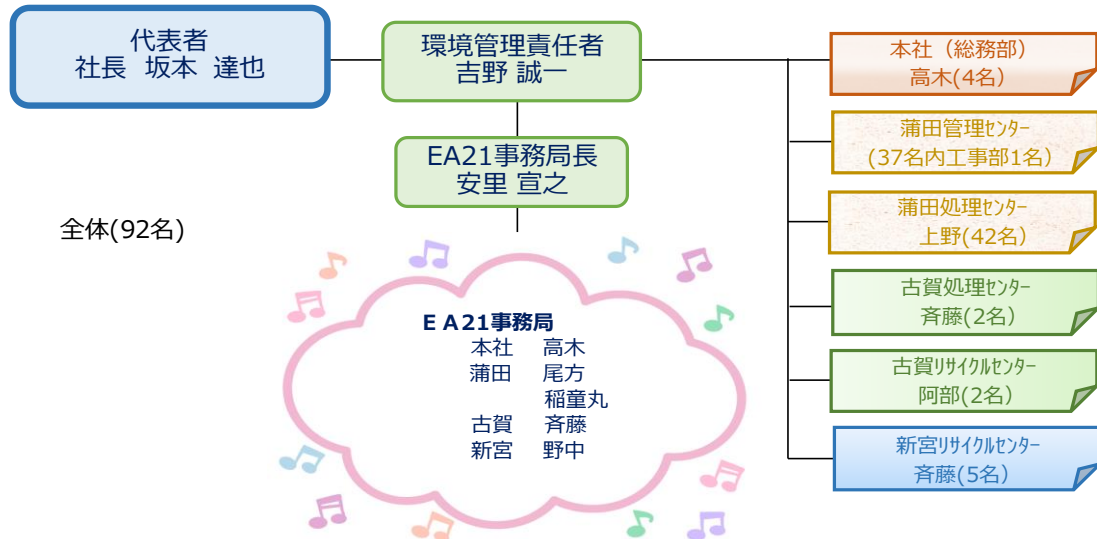
1) 対象範囲

全組織、全事業所を対象範囲とする

2) 対象活動

産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、
産業廃棄物中間処理業、建設業（とび・土工工事業）

3) 対象組織



所 属	所 属	役割・責任・権限
代表者	坂本	- 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ - 経営における課題とチャンスを確認する - 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する。 - 環境管理責任者、E A 2 1 事務局員を任命する。 - 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する。 - E A 2 1 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	吉野	- E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 - 活動計画、法規制等の承認、及び遵守チェック - 社外からの環境情報の収集および確認を関係各所へ周知する。 - 上記の結果を代表者に報告する。
EA21事務局長	安里	- 環境管理責任者の補佐 - 環境目標、環境活動計画書原案を作成する。 - 環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を各部門長に周知する。 3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を各部門へ報告
EA21事務局	高木 稲童丸 野中	- 環境活動に伴うデータの集計・管理を行う。 - EA21文書及び記録の原案作成を行う。 - 環境レポート作成 - EA21に関する諸手続き及び窓口
部門長	尾方 斉藤 千早	- 環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。 - 自部門で発生した問題点の是正措置、予防措置を実施する。 - 自部門に関連する法規制等を遵守する。 - 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 - 自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

施設の状況



□本社

- ◇場 所 : 福岡市東区二又瀬新町 9 番12号
- ◇登記年月日 : 平成21年9月18
- ◇部所名 : 総務部



□積替保管施設

- ◇設置場所 : 福岡市東区二又瀬新町 9 番12号
- ◇登記年月日 : 平成30年6月12日
- ◇種類 : 廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず等
(廃蛍光管及び廃電球（水銀使用製品
産業廃棄物を含む。）に限る。)
- ◇保管面積 : 15.458 m²
- ◇保管上限 : 16.416 m³
- ◇保管高さ : 1.2 m



□蒲田管理センター

- ◇設置場所 : 福岡市東区蒲田1丁目22-6番
- ◇登記年月日 : 平成2年5月
- ◇部所名 : 収集運搬業務（81台）
業務部
工事部
営業部
管理部



施設の状況



□蒲田処理センター

- ◇設置場所 : 福岡市東区蒲田1丁目1440番57外4筆
- ◇設置年月日 : 平成4年12月8日
- ◇施設の種類 : 選別施設（中間処理）
- ◇種類 : 廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず等
紙くず、木くず、繊維くず
ゴムくず、がれき類
- ◇処理能力 : 1,600m³/日（8時間）
- ◇処理方法 : 選別



□新宮リサイクルセンター

- ◇設置場所 : 福岡県糟屋郡新宮町
大字的野字長浦737番56外1筆
- ◇設置年月日 : 平成17年3月8日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（破碎）
- ◇種類 : 廃プラスチック類・木くず
- ◇処理能力 : 廃プラスチック類 91.2 t / 日（16時間）
木くず 136 t / 日（16時間）
- ◇処理方法 : 破碎



- ◇設置場所 : 福岡県糟屋郡新宮町
大字的野字長浦737番56外3筆
- ◇設置年月日 : 平成17年3月8日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（破碎）
- ◇種類 : ガラスくず等・がれき類
- ◇処理能力 : 1,180.8 t / 日（16時間）
- ◇処理方法 : 破碎



施設の状況



□新宮リサイクルセンター

- ◇設置場所 : 福岡県糟屋郡新宮町
大字的野字長浦737番49
- ◇設置年月日 : 平成29年3月20日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（破碎）
- ◇種類 : 廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず
- ◇処理能力 : 紙くず 16 t / 日（16時間）
木くず 4.8 t / 日（16時間）
繊維くず 16 t / 日（16時間）
ゴムくず 16 t / 日（16時間）
- ◇処理方法 : 破碎



- ◇設置場所 : 福岡県糟屋郡新宮町
大字的野字長浦737番49
- ◇設置年月日 : 平成29年3月20日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（選別）
- ◇種類 : 廃プラスチック類・金属くず・紙くず
・木くず・繊維くず・ゴムくず
- ◇処理能力 : 49.9 t / 日（16時間）
- ◇処理方法 : 選別



- ◇設置場所 : 福岡県糟屋郡新宮町
大字的野字長浦737番49
- ◇設置年月日 : 平成29年3月20日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（圧縮梱包）
- ◇種類 : 廃プラスチック類・紙くず・
木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・
ガラスくず（廃ロケット・及びガラス・に限定）
- ◇処理能力 : 633 t / 日（16時間）
- ◇処理方法 : 圧縮梱包



施設の状況



□古賀処理センター

- ◇設置場所 : 福岡県古賀市青柳字山見坂234番1
- ◇設置年月日 : 昭和61年11月14日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（焼却）
- ◇種類 : 廃酸・廃アルカリ
廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）
紙くず・木くず・繊維くず・動物性残さ・ゴムくず
- ◇処理能力 : 20 t / 日（8時間）
- ◇処理方法 : 焼却



- ◇設置場所 : 福岡県古賀市青柳字山見坂234番1
- ◇設置年月日 : 平成13年12月20日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（破砕）
- ◇種類 : ガラスくず等（廃石膏ボードに限る）
- ◇処理能力 : 4.8 t / 日（16時間）
- ◇処理方法 : 破砕



- ◇設置場所 : 福岡県古賀市青柳字山見坂234番1
- ◇設置年月日 :
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（圧縮梱包②）
- ◇種類 : 廃プラスチック類・紙くず・
木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・
ガラスくず（廃ロケット・及びガラス球に限る）
- ◇処理能力 : 316 t / 日（8時間）
- ◇処理方法 : 圧縮梱包



施設の状況



□古賀リサイクルセンター

- ◇設置場所 : 福岡県古賀市青柳字山見坂223番2
- ◇設置年月日 : 令和3年12月15日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（選別②）
- ◇種類 : 廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず
ガラスくず等・がれき類・金属くず
- ◇処理能力 : 220 t / 日（24時間）
- ◇処理方法 : 選別



- ◇設置場所 : 福岡県古賀市青柳字山見坂223番2
- ◇設置年月日 : 令和3年12月15日
- ◇施設の種類 : 中間処理施設（選別③）
- ◇種類 : 廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず
ガラスくず等・がれき類・金属くず
- ◇処理能力 : 367 t / 日（24時間）
- ◇処理方法 : 選別



≪ 許 可 証 一 覧 表 ≫

※許可一覧表 (株)坂本工業

令和7年3月31日 現在

許可証	発行部署	優良認定	許可番号	許可年月日及び許可期限	処理方法 (中間処理)	廃 プラ	金 属 く ず	ガ ラ 陶	紙 く ず	木 く ず	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	動物性 残さ	が れ き 類	燃 え 殻	汚 泥	ゴ ム く ず	織 維 く ず	鋳 さい	ば い じ ん	廃 石 綿	動物の ふん尿
処分業	福岡市	◎	07740000682	許可年月日	令和4年12月22日	(選別)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和11年12月21日																		
	福岡県	◎	04020000682	許可年月日	令和5年3月17日	(焼却)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和12年3月16日	(破碎)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
						(選別)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
						(圧縮梱包)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬業	福岡県	◎	04000000682	許可年月日	令和4年11月10日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和11年11月9日																		
	佐賀県	◎	04103000682	許可年月日	令和6年7月9日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和12年9月25日																		
	長崎県	◎	04200000682	許可年月日	令和6年10月25日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和13年10月24日																		
	大分県	◎	04407000682	許可年月日	令和4年6月14日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和11年6月13日																		
	山口県	◎	03500000682	許可年月日	令和5年9月21日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和12年9月20日																		
	宮崎県	◎	04504000682	許可年月日	令和5年6月13日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和12年6月12日																		
	熊本県	◎	04305000682	許可年月日	令和5年1月25日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和12年1月3日																		
	鹿児島県	◎	04609000682	許可年月日	令和5年1月22日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				許可期限	令和12年1月21日																		
収集運搬業 (積保)	福岡市	◎	07710000682	許可年月日	令和5年6月12日	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬業 (特管)	福岡県	◎	04050000682	許可年月日	令和4年11月11日																		
				許可期限	令和11年11月10日																		
	佐賀県	◎	04151000682	許可年月日	令和6年8月30日																		
				許可期限	令和11年8月29日																		
	熊本県	◎	04355000682	許可年月日	令和5年12月14日																		
				許可期限	令和12年11月26日																		

≪ 車 両 一 覧 表 ≫

株式会社 坂本工業

令和7年3月31日 現在

	車種	登録番号	最大積載量	長さ × 幅 × 高さ (mm)	ガスレベル 注1)		車種	登録番号	最大積載量	長さ × 幅 × 高さ (mm)	ガスレベル 注1)
1	セミトレーラー	福岡 130 さ 7604	24,800 kg	1021 × 2490 × 3740	—	42	4tクラム	福岡 130 さ 5008	1,250 kg	6610 × 2250 × 3440	☆*1
2	セミトレーラー	" 130 す 5104	21,400 kg	7850 × 2490 × 3720	—	43	"	" 100 す 8164	3,600 kg	6130 × 2180 × 2450	☆☆☆
3	トラクタ	" 130 さ 5295	37,080 kg	5880 × 2490 × 3250	☆*4	44	"	" 130 さ 2802	3,600 kg	6170 × 2180 × 2430	☆*10
4	セミトレーラー	" 130 さ 7102	24,800 kg	10190 × 2490 × 3770	—	45	"	" 130 さ 2805	3,600 kg	6170 × 2180 × 2430	☆*10
5	セミトレーラー	" 130 さ 1710	25,800 kg	13380 × 2490 × 3080	—	46	"	" 100 す 6439	3,750 kg	6170 × 2210 × 2460	☆☆☆
6	トラクタ	" 130 す 3001	37,840 kg	5900 × 2490 × 3340	☆*4	47	"	" 100 せ 6437	3,650 kg	6170 × 2170 × 2430	☆*10
7	トラクタ	" 130 す 3002	37,840 kg	5900 × 2490 × 3340	☆*4	48	"	" 100 そ 8293	3,550 kg	6220 × 2170 × 2450	☆*1
8	トラクタ	" 130 さ 3005	38,430 kg	5900 × 2490 × 3340	☆*4	49	"	" 100 そ 8903	3,550 kg	6220 × 2170 × 2450	☆*1
9	セミトレーラー	" 130 そ 2308	22,000 kg	7670 × 2490 × 3370	—	50	"	" 100 そ 8904	3,550 kg	6220 × 2170 × 2450	☆*1
10	セミトレーラー	" 130 さ 2700	21,200 kg	7710 × 2490 × 3370	—	51	"	" 100 そ 8905	3,550 kg	6220 × 2170 × 2450	☆*1
11	セミトレーラー	" 100 ゆ 459	27,200 kg	1324 × 2490 × 3140	—	52	"	" 130 す 2801	3,600 kg	6170 × 2170 × 2430	☆*10
12	トラクタ	" 130 さ 4801	38,030 kg	5550 × 2490 × 3340	☆*4	53	"	" 130 す 2901	3,600 kg	6170 × 2200 × 2460	☆*10
13	トラクタ	" 130 さ 4802	38,070 kg	5550 × 2490 × 3340	☆*4	54	"	" 130 さ 5227	3,600 kg	6170 × 2170 × 2440	☆*3
14	コンテナフルトレーラー	" 130 さ 7717	10,400 kg	9330 × 2490 × 3570	☆*1	55	"	" 130 す 9119	3,400 kg	6220 × 2200 × 2450	☆*1
15	コンテナフルトレーラー	" 130 せ 9116	10,500 kg	9330 × 2490 × 3580	☆*1	56	4tパワーゲート	" 100 そ 8915	4,450 kg	6330 × 2220 × 2270	☆*1
16	コンテナフルトレーラー/コンテナ	" 131 す 7727	13,800 kg	8230 × 2490 × 1790	—	57	3tユニック	" 130 す 7018	3,000 kg	5980 × 1930 × 2640	☆*3
17	10tダンプ	" 130 す 2012	8,700 kg	11990 × 2490 × 3750	☆*4	58	"	" 130 さ 6517	3,000 kg	5980 × 1930 × 2640	☆*3
18	"	" 130 す 2014	8,200 kg	11980 × 2490 × 3730	☆*4	59	"	" 130 さ 4717	3,000 kg	5980 × 1930 × 2640	☆*3
19	"	" 130 そ 2016	8,600 kg	11980 × 2490 × 3750	☆*4	60	"	" 130 せ 1808	3,000 kg	5980 × 1930 × 2640	☆*3
20	"	" 130 す 7117	9,100 kg	7640 × 2490 × 3170	☆*4	61	"	" 130 そ 2021	3,000 kg	6150 × 1930 × 2600	☆*1
21	"	" 130 す 4510	9,100 kg	7640 × 2490 × 3170	☆*4	62	"	" 130 そ 2312	2,550 kg	6150 × 1930 × 2620	☆*1
22	"	" 130 す 6102	9,100 kg	7640 × 2490 × 3170	☆*4	63	3tユニック・パワーゲート	" 100 そ 8297	2,700 kg	6150 × 1930 × 2640	☆*3
23	"	" 130 そ 1029	8,600 kg	7660 × 2490 × 3300	☆*4	64	3tパワーゲート	" 100 そ 9061	2,650 kg	6150 × 1930 × 2640	☆*3
24	"	" 130 さ 3877	8,600 kg	7660 × 2490 × 3300	☆*4	65	"	" 130 な 2020	2,650 kg	6150 × 1930 × 2600	☆*1
25	"	" 130 そ 2019	8,900 kg	7700 × 2490 × 3330	☆*1	66	"	" 130 た 2022	2,550 kg	6150 × 1930 × 2650	☆*1
26	10tクラム	" 130 さ 1401	6,800 kg	9700 × 2490 × 3570	☆*4	67	"	" 130 た 2208	2,550 kg	6150 × 1930 × 2650	☆*1
27	"	" 130 さ 8544	6,800 kg	9700 × 2490 × 363	☆*4	68	2tコンテナ	" 400 な 5526	2,000 kg	4480 × 1690 × 1970	☆☆☆
28	"	" 100 は 3919	9,000 kg	8400 × 2490 × 3780	★*11	69	"	" 430 さ 2806	2,000 kg	4550 × 1690 × 1980	☆*10
29	"	" 130 さ 1402	8,700 kg	8350 × 2490 × 3330	☆*4	70	"	" 400 ほ 6662	2,000 kg	4510 × 1690 × 1990	☆*3
30	"	" 100 は 4812	8,700 kg	8410 × 2500 × 3340	☆*4	71	"	" 430 す 3015	2,000 kg	4470 × 1690 × 1970	☆*3
31	ハン	130 つ 2018	14,300 kg	11980 × 2490 × 3760	☆*1	72	"	" 430 ほ 5667	2,000 kg	4470 × 1690 × 1970	☆*3
32	8tクラム・コンテナ	" 100 は 3883	7,100 kg	6870 × 2280 × 3530	☆*10	73	"	" 400 ほ 8077	2,000 kg	4510 × 1690 × 1970	☆*3
33	"	" 100 は 3855	7,500 kg	6870 × 2280 × 3520	☆*10	74	"	" 400 ま 1409	2,000 kg	4510 × 1690 × 1990	☆*3
34	"	" 100 は 5602	7,400 kg	6930 × 2270 × 3500	☆*1	75	"	" 400 ま 1410	2,000 kg	4510 × 1690 × 1990	☆*3
35	8tユニック	" 100 は 3905	7,200 kg	8530 × 2290 × 3050	☆*10	76	"	" 430 す 6027	2,000 kg	4520 × 1690 × 1990	☆*1
36	4tクラム	福岡 100 す 6446	1,700 kg	6640 × 2230 × 3460	☆☆☆	77	"	" 430 ち 5007	2,000 kg	4410 × 1690 × 1990	☆*1
37	4tクラム	" 100 す 9189	1,550 kg	6610 × 2250 × 3460	☆☆☆	78	"	" 400 ね 1996	2,000 kg	4580 × 1690 × 1980	☆*10
38	"	" 130 さ 9828	1,400 kg	6620 × 2230 × 3420	☆*3	79	"	" 430 そ 2308	2,000 kg	4410 × 1690 × 1990	☆*1
39	4tクラム	福岡 130 さ 5473	1,400 kg	6620 × 2230 × 3410	☆*3	80	軽トラック	" 480 く 4943	350 kg	3390 × 1470 × 1790	☆☆☆*6
40	"	130 さ 2803	1,500 kg	6610 × 2250 × 3400	☆*10	81	軽トラック	" 480 せ 7456	350 kg	3390 × 1470 × 1790	☆☆☆*6
41	"	" 100 せ 6461	1,450 kg	6620 × 2220 × 3500	☆*10						

《運搬車両低公害車の導入状況》

1. 産業廃棄物の収集運搬業の用に供する運搬車に係る低排出ガス車の導入状況

運搬車の排ガスレベル	台数 (割合) R7年3月31日時点	【参照】台数 (割合) R6年3月31日時点	結果
全保有台数	81 台 (100.0%)	89 台 (100.0%)	
①平成11年規制適合車 ☆	0 台 (0.0%)	1 台 (1.1%)	↓
②平成12年基準低排出ガス50%低減車 ☆☆	0 台 (0.0%)	0 台 (0.0%)	→
③平成12年基準低排出ガス75%低減車 ☆☆☆	5 台 (6.2%)	6 台 (6.7%)	↓
④平成12年基準超低PM排出ディーゼル車 ☆☆☆	0 台 (0.0%)	0 台 (0.0%)	→
⑤平成12年基準排出ガス85%ディーゼル車 ☆☆☆☆	0 台 (0.0%)	0 台 (0.0%)	→
⑥平成17年基準NOx・PM10%低減重量車★ *11	1 台 (1.2%)	2 台 (2.2%)	↓
⑦平成17年基準PM10%低減重量車☆ *10	12 台 (14.8%)	12 台 (13.5%)	↑
⑧平成19年基準低排出ガス50%低減車 ☆☆☆ *6	2 台 (2.5%)	2 台 (2.2%)	→
⑨平成21年基準低排出ガス10%低減車 ☆ *4	18 台 (22.2%)	21 台 (23.6%)	↓
⑩平成22年基準低排出ガス10%低減車 ☆ *3	15 台 (18.5%)	15 台 (16.9%)	↑
⑪平成28 年規制適合車 ☆ *1	20 台 (24.7%)	20 台 (22.5%)	↑
⑫適合外	8 台 (9.9%)	10 台 (11.2%)	↓

【低排出ガス車の導入目標】

R7年3月末までに、H22年基準低排出ガス10%低減車の占める割合を全保有台数の20%以上とする。

【排ガスレベルについて】

※環境省優良認定制度運用マニュアル(H27年3月改訂版)運搬車排ガスレベルを使用しています

2. 産業廃棄物の収集運搬業の用に供する運搬車に係る低燃費車の導入状況

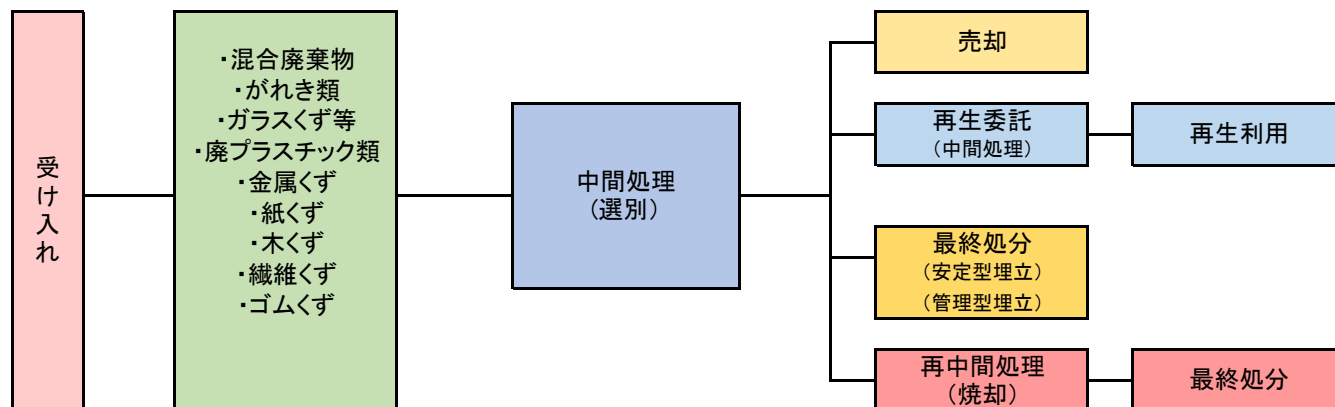
運搬車の燃費低減レベル	台数 (割合) R7年3月31日時点	【参照】台数 (割合) R6年3月31日時点	結果
全保有台数	81 台 (100.0%)	89 台 (100.0%)	
平成22年度燃費基準達成車			
①--	1 台 (1.2%)	1 台 (1.1%)	→
②5%向上レベル	1 台 (1.2%)	1 台 (1.1%)	→
③10%低減レベル	0 台 (0.0%)	台 (0.0%)	→
④15%低減レベル	0 台 (0.0%)	台 (0.0%)	→
⑤25%低減レベル	0 台 (0.0%)	台 (0.0%)	→
平成27年度燃費基準達成車			
①--	27 台 (33.3%)	29 台 (32.6%)	→
② 5%向上レベル	20 台 (24.7%)	22 台 (24.7%)	→
③10%向上レベル	5 台 (6.2%)	5 台 (5.6%)	→
NOx・PM適合車	19 台 (23.5%)	21 台 (23.6%)	↓
対象外	8 台 (9.9%)	10 台 (11.2%)	↓

【低燃費車の導入目標】

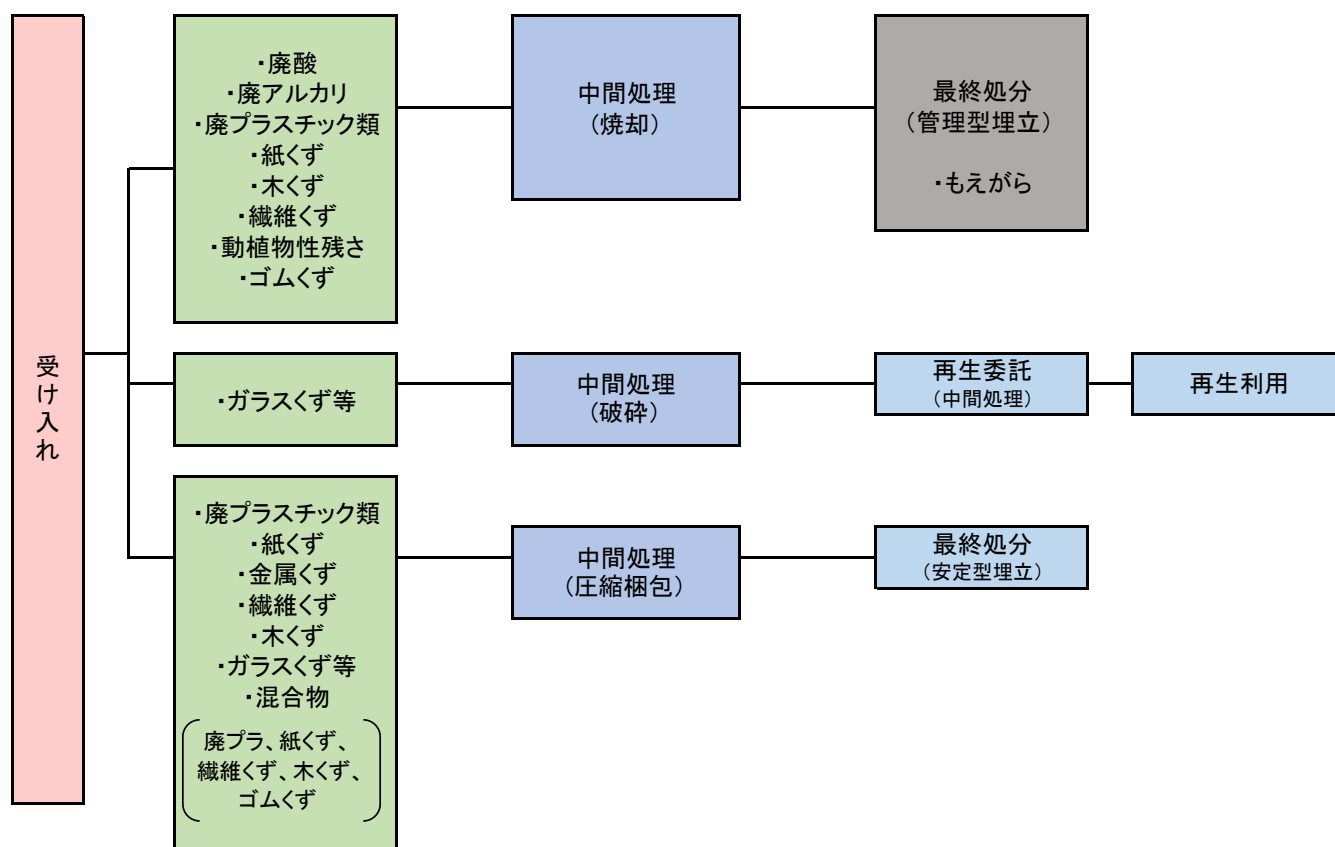
R7年3月末までに、H27年度燃費基準達成車10%向上の占める割合を全保有台数の6%とする。

処理工程図

□蒲田処理センター：処理フロー

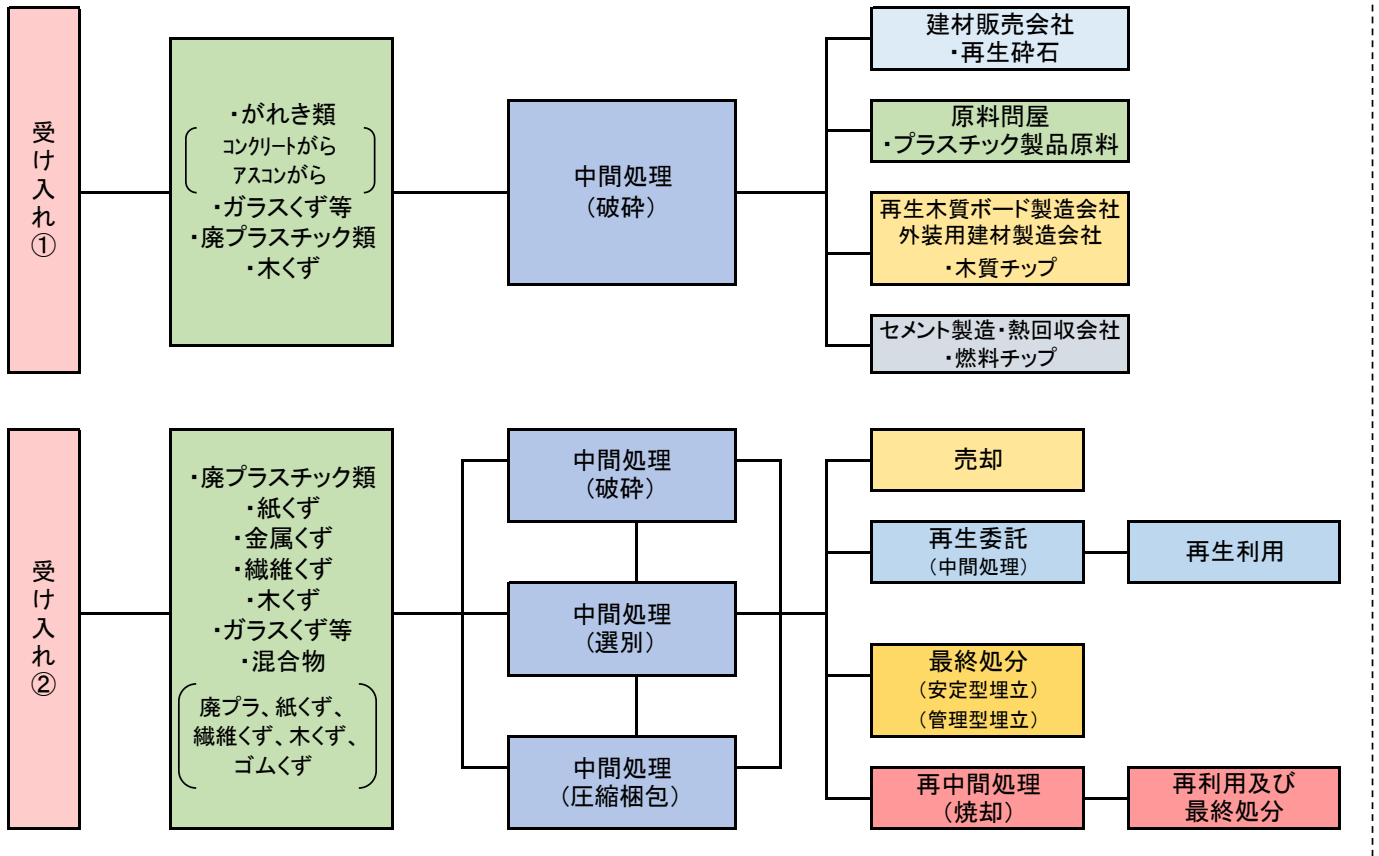


□古賀処理センター：処理フロー

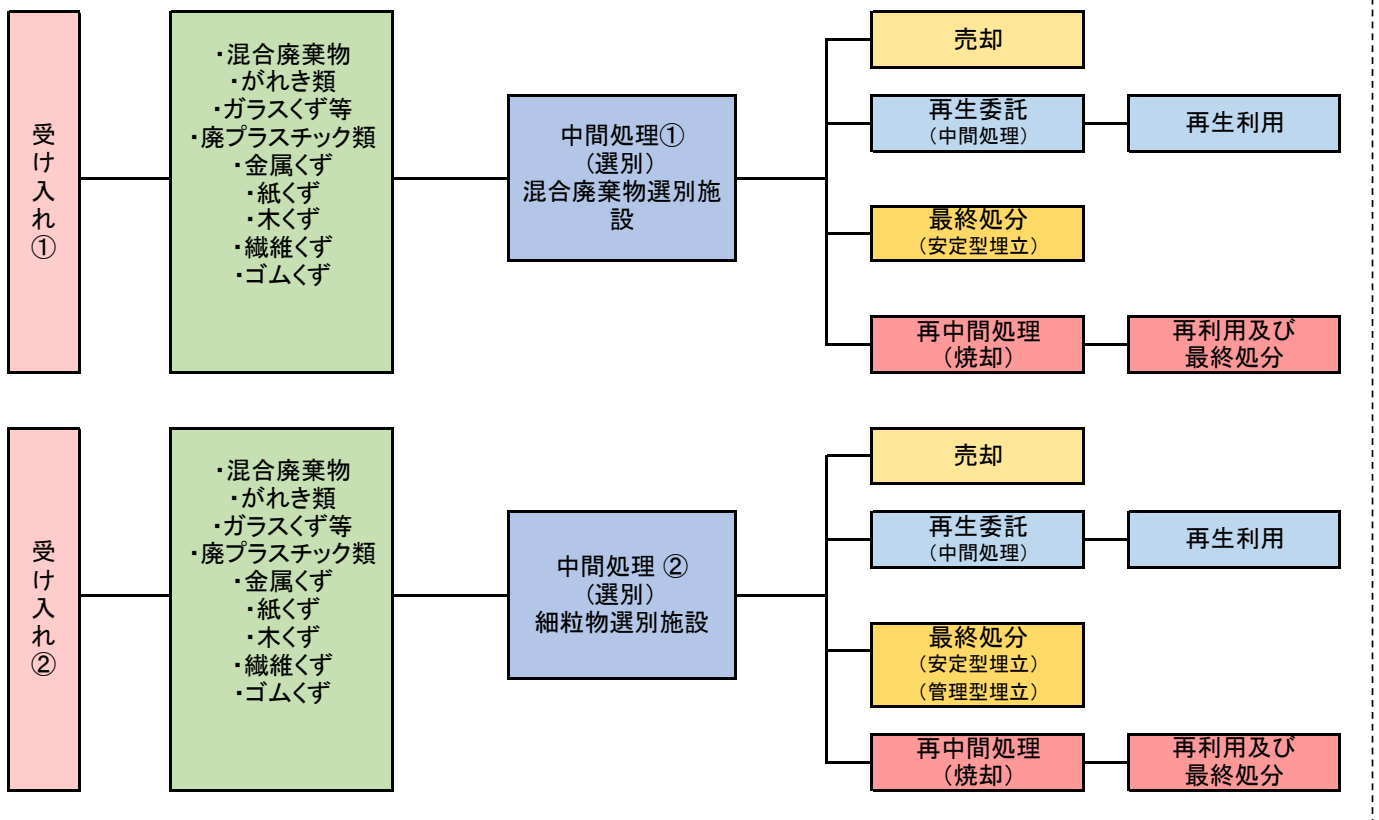


処 理 工 程 図

□新宮リサイクルセンター：リサイクルフロー・処理フロー



□古賀リサイクルセンター：リサイクルフロー・処理フロー



3.環境経営目標/全社(CO₂)

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値 基準年	令和4年度 目標値(1%)	令和5年度 目標値(2%)	令和6年度 目標値(3%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	2,271,060	2,248,349.40	2,225,638.80	2,202,928.20
本社	kg-CO ₂	5,931	5,871.69	5,812.38	5,753.07
管理センター	kg-CO ₂	688,755	681,867.45	674,979.90	668,092.35
蒲田処理センター	kg-CO ₂	1,026,773	1016505.27	1006237.54	995969.81
新宮リサイクルセンター	kg-CO ₂	366,147	362,485.53	358,824.06	355,162.59
古賀処理センター	kg-CO ₂	183,453	181618.47	179,783.94	177,949.41

3.環境経営目標/本社

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値 基準年	令和4年度 目標値(1%)	令和5年度 目標値(2%)	令和6年度 目標値(3%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	5,931.00	5,871.69	5,812.38	5,753.07
電力使用量の削減	kWh	12,781.00	12,653.19	12,525.38	12,397.57
ガス使用量の削減	Nm ³	5.00	4.95	4.90	4.85
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	77.00	76.23	75.46	74.69
総排水量の削減	m ³	61.00	60.39	59.78	59.17
グリーン購入の推進及び 購入率の向上	%	54.00	54.54	55.08	55.62
社内外の美化	回	280	280	280	280

6.環境経営目標/蒲田管理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値 基準年	平成31年度 目標値(1%)	令和2年度 目標値(2%)	令和3年度 目標値(3%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	688,755	681,867.45	674,979.90	668,092.35
電力使用量の削減	kWh	39,262	38,869.38	38,476.76	38,084.14
ガス使用量の削減	kg	18	17.82	17.64	17.46
営業車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	10,824	10,715.76	10,607.52	10,499.28
	km/ℓ	16	16.16	16.32	16.48
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	247,794	245,316.06	242,838.12	240,360.18
	km/ℓ	5	5.05	5.10	5.15
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	436.0	431.64	427.28	422.92
総排水量の削減	m ³	458.0	453.42	448.84	444.26
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	3	3	3	3
化学物資購入量の把握	ℓ	購入量把握	購入量把握	購入量把握	購入量把握
工事部					
目標・項目	単位	直近3年間の 平均値 基準年	令和4年度 目標値(1%)	令和5年度 目標値(2%)	令和6年度 目標値(3%)
現場での分別、 廃棄物再資源化率の向上	%	77.22	77.99	78.76	79.54

3.環境経営目標/蒲田処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値 基準年	令和4年度 目標値(1%)	令和5年度 目標値(2%)	令和6年度 目標値(3%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	1,026,773	1,016,505.27	1,006,237.54	995,969.81
電力使用量の削減	kWh	96,335	95,371.65	94,408.30	93,444.95
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	145,872	144,413.28	142,954.56	141,495.84
	km/ℓ	2.40	2.42	2.45	2.47
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	229,093	226,802.07	224,511.14	222,220.21
	ℓ/h	8.96	8.87	8.78	8.69
廃棄物再資源化率の向上	%	80.00	80.80	81.60	82.40
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	24.00	23.76	23.52	23.28
ふんじん発生の抑制	回	0	0	0	0
社内外の美化	回	280	280	280	280
化学物資購入量の把握	ℓ	購入量把握	購入量把握	購入量把握	購入量把握

3.環境経営目標/新宮リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値 基準年	令和4年度 目標値(1%)	令和5年度 目標値(2%)	令和6年度 目標値(3%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	366,147	362,485.53	358,824.06	355,162.59
電力使用量の削減	kWh	216,858	214,689.42	212,520.84	210,352.26
ガス使用量の削減	kg	1.00	0.99	0.98	0.97
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	27,605	27,328.95	27,052.90	26,776.85
	km/ℓ	2.61	2.64	2.66	2.69
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	74,743	73,995.57	73,248.14	72,500.71
	ℓ/h	7.49	7.42	7.34	7.27
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	48.00	47.52	47.04	46.56
総排水量の削減※注4)	m ³	1,799.00	1,781.01	1,763.02	1,745.03
社内外の美化	回	12	12	12	12
ふんじん発生の抑制	回	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の 再資源化率100%の維持	%	100	100	100	100
廃棄物再資源化率の向上 (新宮②)	%	97.44	98.41	99.39	100.00
化学物資購入量の把握	ℓ	購入量把握	購入量把握	購入量把握	購入量把握

3.環境経営目標/古賀処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値 基準年	令和4年度 目標値(1%)	令和5年度 目標値(2%)	令和6年度 目標値(3%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	183,453	181,618.47	179,783.94	177,949.41
電力使用量の削減	kWh	103,744	102,706.56	101,669.12	100,631.68
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	0	0	0	0
	km/ℓ	0.15	0.15	0.15	0.15
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	51,945	51,425.55	50,906.10	50,386.65
	ℓ/h	9.33	9.24	9.14	9.05
燃え殻のリサイクル利用	%	-	-	-	-
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	10	9.90	9.80	9.70
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	2	2	2	2
社内外の美化	回	12	12	12	12
稼働日あたりの再生水 の利用率の向上	%	-	-	-	-

3.環境経営目標/古賀リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	令和5年度 (実績値) 基準年	令和4年度 目標値(0%)	令和5年度 目標値(0%)	令和6年度 目標値(1%)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	142,484	-	-	141,059.16
電力使用量の削減	kWh	156,021	-	-	154,460.79
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	0	-	-	0
	km/ℓ	0.00	-	-	0.00
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	26,199	-	-	25,937.01
	ℓ/h	6.02	-	-	5.96
廃棄物再資源化率の向上	%	92.53	-	-	93.46
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	0	-	-	0.00
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	2	-	-	2
社内外の美化	回	12	-	-	12

4.環境経営活動/全社

活動項目		対象事業所	内容
二酸化炭素排出量の削減	1) 電力の削減	全社	漏電定期確認
		全社	室外機定期確認(※確認書必須)
		全社	エアコンの温度と湿度管理や不必要な照明の消灯
		蒲田	選別機定期メンテナンスの徹底
		古賀	焼却炉定期メンテナンスの徹底
		新宮・古賀	破砕機・圧縮機定期メンテナンスの徹底
		蒲田・新宮・古賀	作業場内の機械、設備等の未使用時OFF
	2) 燃料の削減	本社・管理	湯沸かし器及びコンロの点検、確認
		本社・管理	湯沸かし器使用時間の短縮
		新宮	ボイラーの点検、確認
		新宮	ボイラー使用時間の短縮
	3) 燃費の向上	管理	車両購入時における低公害車への移行
		管理・蒲田・新宮・古賀	運行管理の徹底（燃費管理表作成及び消費燃料把握）
		管理・蒲田・新宮・古賀	車両管理（車両整備、点検等）の徹底
		蒲田・新宮・古賀	運搬車両の過積載禁止及び法定速度を遵守アイドリングストップを励行すること
		蒲田・新宮・古賀	重機導入時における、低公害型への転換
		蒲田・新宮・古賀	重機は適切な出力で運転しアイドリングストップを励行すること
	事務所からの一般廃棄物の削減	全社	使い捨て製品（紙、封筒、容器等）の使用抑制及び再利用を推進する
		全社	会議資料ペーパーレス化等でコピー用紙の節減や資料の電子化
		全社	資源ごみの分別の徹底（数値）及び啓発
	受託した産業廃棄物の再資源化率100%の維持	新宮	産業廃棄物受け入れ時の内容確認の徹底
	受託した産業廃棄物の再資源化率の向上	蒲田・工事・新宮・古賀	分別リサイクルの徹底
		蒲田・新宮・古賀	作業手順書を作成し効率化を図る
		蒲田・工事・新宮・古賀	再資源化処理施設への搬入推進
		新宮	廃棄物受入時の内容確認の徹底
	燃え殻のリサイクル利用	古賀	徹底した焼却炉の温度管理、時間帯毎の温度の記録
		古賀	適切な焼却物の投入
		古賀	再資源化処理施設への搬入推進
	ふんじん発生の抑制	蒲田・新宮	乾燥時には水まきを行う。
	総排水量の削減	本社・管理・蒲田・新宮	漏水定期確認
		本社・管理・蒲田・新宮	節水ポスターの掲示及び使用量確認
		蒲田	散水時の使用を必要最小限に留める
	稼働日あたりの再生水の利用率の向上	古賀	節水意識の啓発
		古賀	雨水の活用
	地域住民・地域企業の皆様の環境保全に参加・貢献	管理・古賀	地域住民との自治会参加及び場内見学
	グリーン購入の推進	本社	事務用品のグリーン購入法適用商品数を把握する
		本社	エコマーク商品、再生材料から作られた製品を積極的に購入
	社内外の美化	本社・蒲田・新宮・古賀	事務所及び社外周辺部での清掃活動の実施
	化学物質の使用	管理・蒲田・新宮	化学物質（AdBlue/尿素水）の購入量把握
		管理・蒲田・新宮	SDS（安全データシート）による情報伝達

6.環境経営目標及び実績/全社

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	2,271,060	2,202,928.20	499,575.46	498,890.41	480,326.44	434,332.56	1,913,124.87
本社	kg-CO ₂	5,931	5,753.07	1,507.79	2,271.84	1,628.55	2,635.00	8,043.18
管理センター	kg-CO ₂	688,755	668,092.35	162,322.90	178,279.04	177,834.87	159,136.59	677,573.40
蒲田処理センター	kg-CO ₂	1,026,773	995,969.81	229,847.28	219,371.82	205,040.04	183,006.06	837,265.20
新宮リサイクルセンター	kg-CO ₂	366,147	355,162.59	62,969.77	56,416.73	49,043.17	48,693.08	217,122.75
古賀処理センター	kg-CO ₂	183,453	177,949.41	27,100.62	26,910.60	30,006.45	26,166.75	110,184.42
古賀リサイクルセンター	kg-CO ₂	142,484	138,209.48	15,827.10	15,640.38	16,773.36	14,695.08	62,935.92

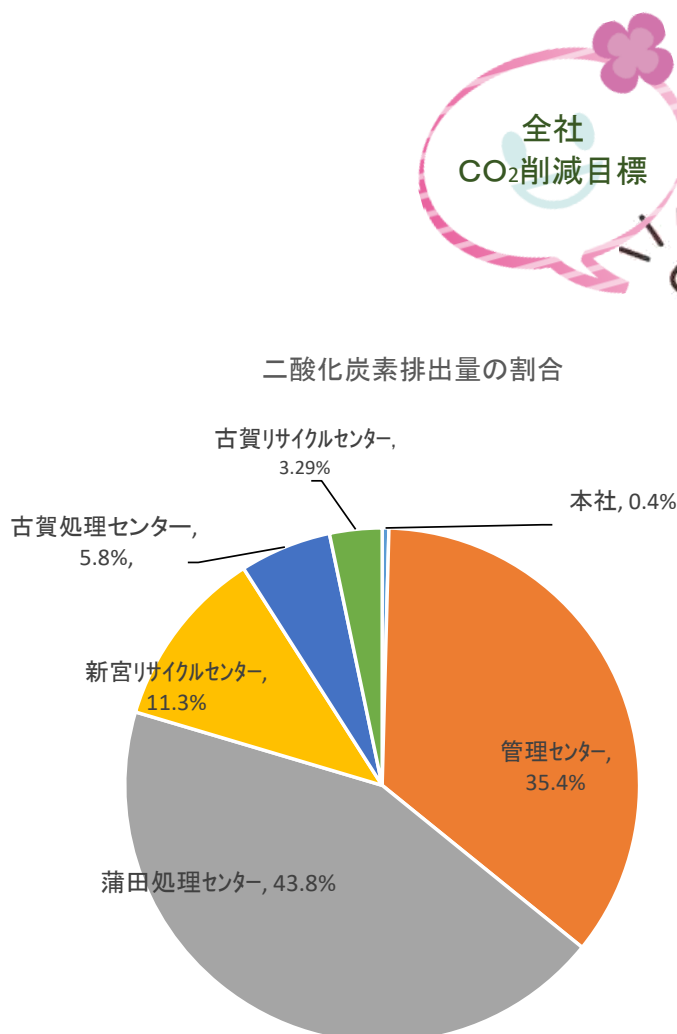
【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO₂調整後排出係数 0.480kg-CO₂ / kWh



実稼働時間の多い事業場から
順番に排出量が多く大きい
数字となっている。
今後、各センターは活動内容を
再度確認するなどして
削減に向けて、努めていく。

6.環境経営目標及び実績/本社

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	5,931.00	5,753.07	1,507.79	2,271.84	1,628.55	2,635.00	8,043.18
電力使用量の削減	kWh	12,781.00	12,397.57	3,139.00	4,733.00	3,391.00	5,486.00	16,749.00
ガス使用量の削減	Nm3	5.00	4.85	0.50	0.00	0.40	0.80	1.70

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO2調整後排出係数 0.480kg-CO₂ / kWh

7.取組結果とその評価/本社

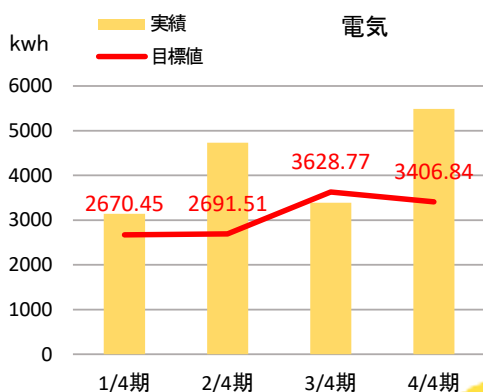
環境活動計画の取組項目

電力使用量の削減	漏電定期確認	○
	室外機定期確認(※確認書必須)	○
	不必要な照明の消灯	○
	エアコンの温度と湿度管理	○
燃料の削減	湯沸かし器及びコンロの点検、確認	○
	湯沸かし器使用時間の短縮	○

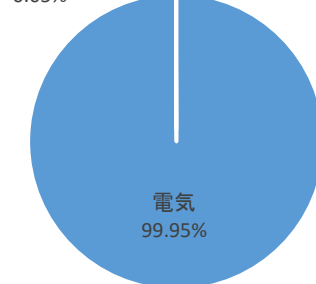
◎取組を行えた ×取組を行えてない

□二酸化炭素排出量の削減

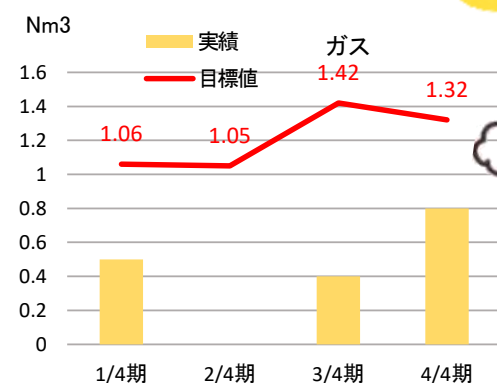
□電力使用量の削減



二酸化炭素排出量の割合



□ガス使用量の削減



目標達成!



ガスの削減はできているが
電気の削減ができていない
ので意識を高めるよう声掛けをした

6.環境経営目標及び実績/本社

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	77.00	74.69	16.00	15.80	19.00	19.60	70.40
総排水量の削減	m3	61.00	59.17	11.50	9.00	10.00	8.50	39.00

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

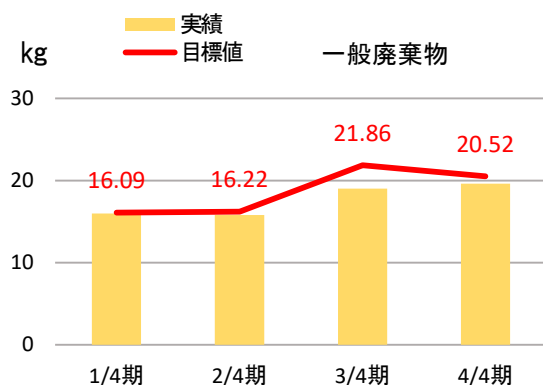
7.取組結果とその評価/本社

環境活動計画の取組項目

一般廃棄物排出量の把握	使い捨て製品の使用抑制及び再利用推進	○
	会議資料等の節減及び資料の電子化	○
	資源ごみの分別の徹底(数値)及び啓発	○
水使用量削減	漏水定期確認	○
	節水ポスターの掲示及び使用量確認	○

◎取組を行えた ×取組を行えてない

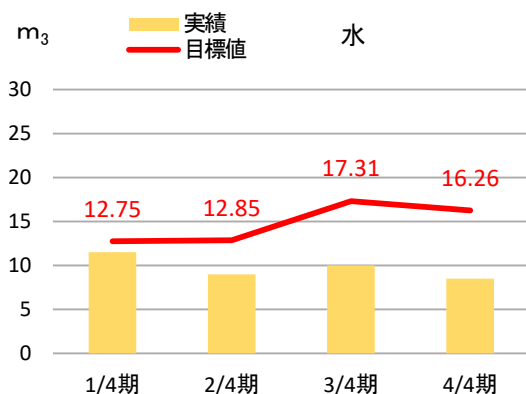
□事務所からの事業系一般廃棄物の削減



目標達成!



□総排水量の削減



一般廃棄物と水使用量
ともに達成・活動する
ことができた。

6.環境経営目標及び実績/本社

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
グリーン購入の推進及び 購入率の向上	%	54.00	55.62	70.67	64.00	73.00	58.00	66.42
社内外の美化	回	280	280	70	71	71	68	280

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

7.取組結果とその評価/本社

環境活動計画の取組項目

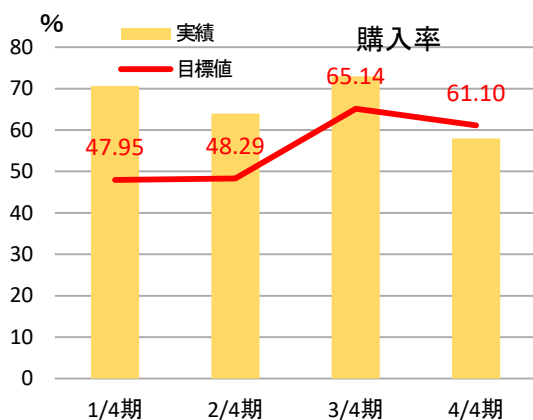
再生資源の調達率の向上	事務用品のグリーン購入法適用商品数把握	○
	Eマーク商品、再生材料製品を積極的に購入	○
社内外の美化	社内・社外周辺部での清掃活動の実施	○

◎取組を行えた

△取組が不十分

×取組を行えてない

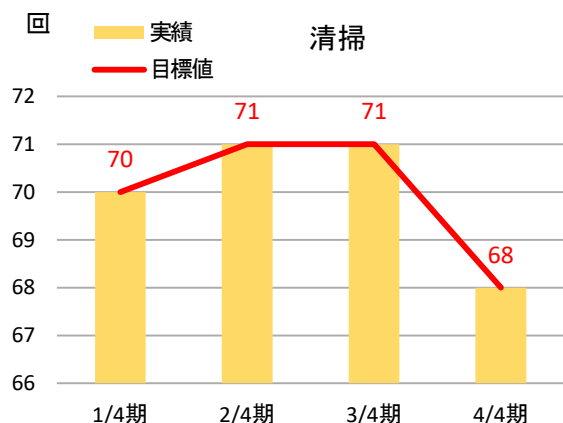
□グリーン購入の推進（事務用品等）



目標達成!



□社内外の美化



グリーン購入率は
達成することが出来た。
美化についても
毎日継続できている。

6.環境経営目標及び実績/蒲田管理センター

1) 蒲田(営業部・業務部)

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	688,755	668,092.35	162,322.90	178,279.04	177,834.87	159,136.59	677,573.40
電力使用量の削減	kWh	39,262	38,084.14	5,644	7,320	6,497	6,761	26,222
ガス使用量の削減	Kg	18	17.46	0.40	0.00	0.20	0.80	1.40

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO2調整後排出係数 0.480kg-CO₂ / kWh

7.取組結果とその評価/蒲田管理センター

環境活動計画の取組項目

電力使用量の削減	漏電定期確認	○
	室外機定期確認(※確認書必須)	○
	エアコンの温度と湿度管理	○
燃料の削減	湯沸かし器及びコンロの点検、確認	○
	湯沸かし器使用時間の短縮	○

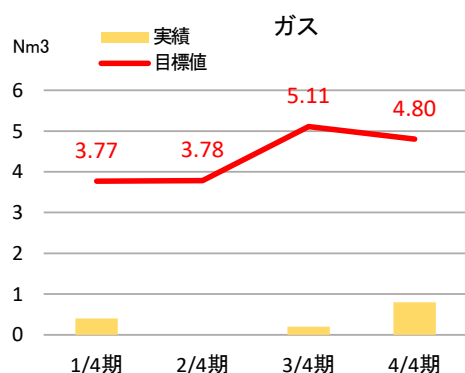
◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□二酸化炭素排出量の削減及び取組の向上

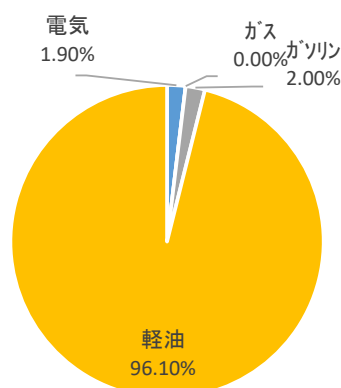
□電力使用量の削減



□ガス使用量の削減



二酸化炭素排出割合



電気・ガスともに大きく使用料を抑えることが出来た。ひきつづき来期も達成できるよう努めていきたい。

6.環境経営目標及び実績/蒲田管理センター

1) 蒲田(営業部・業務部)

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
営業車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	10,824	10,499.28	1,895.02	1,390.69	1,484.91	1,215.56	5,986.18
	km/ℓ	16	16.48	20.28	17.83	21.64	24.91	21.17
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	247,794	240,360.18	60,161	66,488	66,384	59,329	252,362
	km/ℓ	5	5.15	5.64	5.26	5.38	5.45	5.43

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

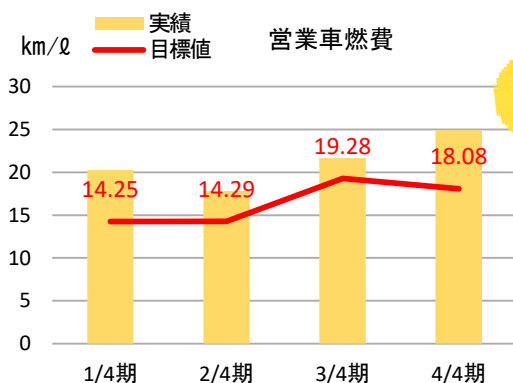
7.取組結果とその評価/蒲田管理センター

環境活動計画の取組項目

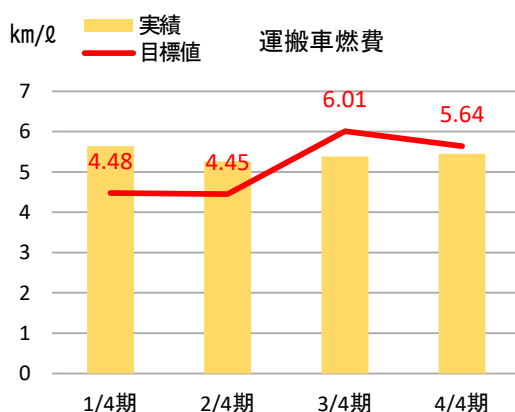
営業車・運搬車の 燃費の向上	車両管理（車両整備、点検等）の徹底	○
	車両購入時における低公害車への移行	○
	運行管理の徹底(燃費管理)	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□営業車の燃費の向上



□運搬車の燃費の向上



営業車については目標達成
することが出来たが
運搬車は繁忙期に未達成
となったがトータルで目標達成
することが出来た。

6.環境経営目標及び実績/蒲田管理センター

1) 蒲田(営業部・業務部)

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	436.00	422.92	70.00	66.00	76.00	88.00	300.00
総排水量の削減	m3	458.00	444.26	49.00	54.00	80.00	17.00	200.00

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

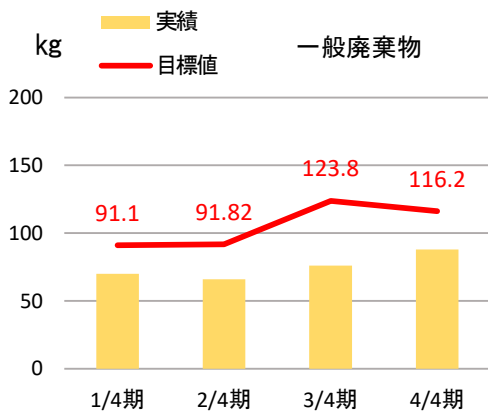
7.取組結果とその評価/蒲田管理センター

環境活動計画の取組項目

一般廃棄物排出量の把握	使い捨て製品の使用抑制及び再利用推進	○
	会議資料等の節減及び資料の電子化	○
	資源ごみの分別の徹底(数値)及び啓発	○
水使用量削減	漏水定期確認	○
	節水ポスターの掲示及び使用量確認	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

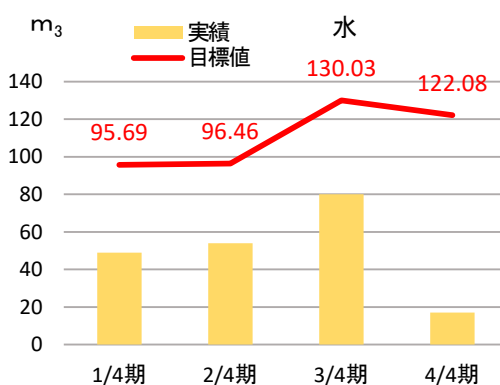
□事務所からの事業系一般廃棄物の削減



目標達成!



□総排水量の削減



一般廃棄物及び水の使用量は
目標達成することができました。
引き続き取り組んでいきたいと
思います。

6.環境経営目標及び実績/蒲田管理センター

1) 蒲田(営業部・業務部)

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	3	3	2	1	2	-	5
化学物質購入量の把握	ℓ	購入量把握	購入量把握	420	485	420	495	1,820

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【化学物質について】

使用量の把握が難しいため、購入量を把握することにより維持・管理しています

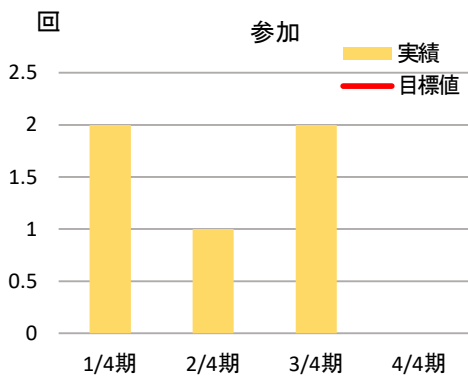
7.取組結果とその評価/蒲田管理センター

環境活動計画の取組項目

事業活動に伴う活動	地域自治会などの聞き取りを行い積極的に参加する	○
適正管理	アドブルーの購入量の把握	○
	SDS（安全データシート）による情報伝達	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

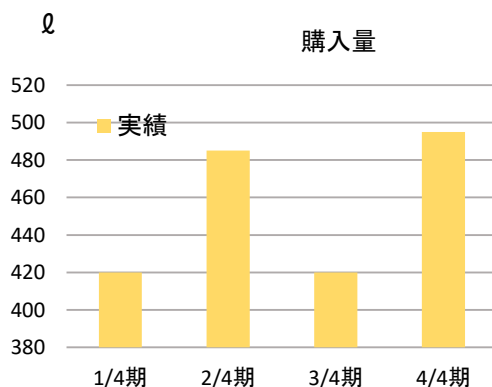
□環境保全に参加・貢献



目標達成!



□化学物資購入量の把握



地域への活動とアドブルー
購入量ともに達成することが
出来ました。

6.環境経営目標及び実績/蒲田管理センター

2) 工事部

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
現場での分別 廃棄物再資源化率の向上	t	1,469	1,513.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	%	77.22	79.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

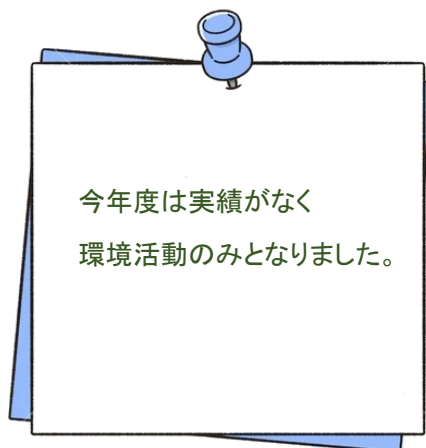
7.取組結果とその評価/蒲田管理センター

2) 工事部

廃棄物再資源化	分別リサイクルの徹底	○
	再資源化処理施設への搬入推進	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□再資源化率の向上



6.環境経営目標及び実績/蒲田処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	1,026,773	995,969.81	229,847.28	219,371.82	205,040.04	183,006.06	837,265.20
電力使用量の削減	kWh	96,335	93,444.95	19,157.00	20,924.00	19,817.00	22,261.00	82,159.00

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO₂調整後排出係数 0.480kg-CO₂ / kWh

7.取組結果とその評価/蒲田処理センター

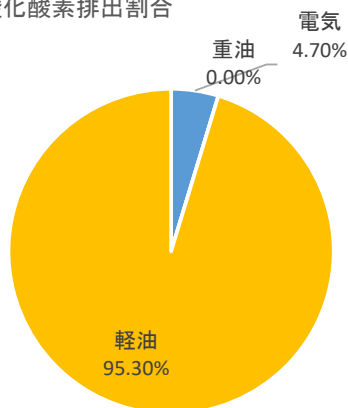
環境活動計画の取組項目

電気使用量削減	漏電定期確認	○
	室外機定期確認(※確認書必須)	○
	エアコンの温度と湿度管理	○
電力の削減 (作業場)	選別機定期メンテナンスの徹底	○
	作業場内の機械、設備等の未使用時OFF	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□二酸化炭素排出量の削減及び取組の向上

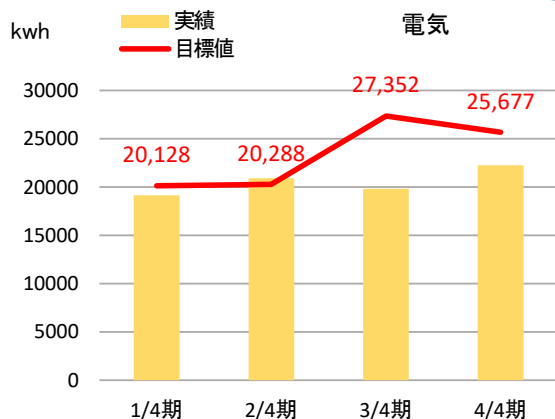
二酸化炭素排出割合



目標達成!



□電力使用量の削減



未達成の月もあったが
年間全体は電力を
おさえることができた。

6.環境経営目標及び実績/蒲田処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	145,872	141,495.84	29,961.00	26,710.00	17,581.00	12,210.00	86,462.00
	km/ℓ	2.40	2.47	2.33	2.43	2.21	2.11	2.27
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	229,093	222,220.21	55,563.00	54,425.00	58,205.00	54,581.00	222,774
	ℓ/h	8.96	8.69	9.15	7.30	8.79	8.55	8.45

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) km/ℓ は1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注3) ℓ/h は重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

【水道使用量について】

※注4) 蒲田処理センターと蒲田管理センターの水道メーターが同じであるため数値目標を立てず活動のみとする

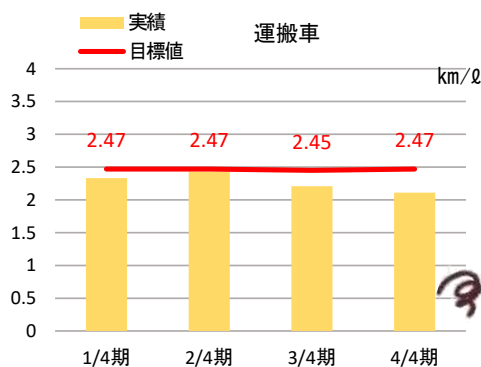
7.取組結果とその評価/蒲田処理センター

環境活動計画の取組項目

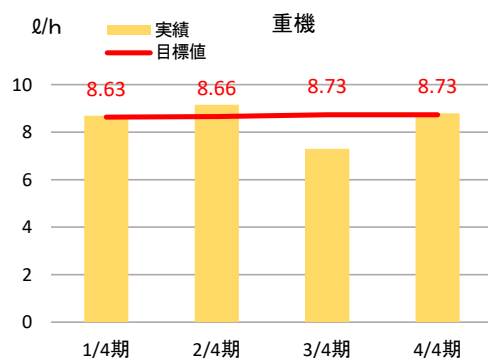
運搬車の 燃費の向上	車両管理（車両整備、点検等）の徹底	○
	運行管理の徹底(燃費管理)	○
	車両の過積載禁止及び法定速度を遵守等	○
重機の 燃費の向上	重機導入時における、低公害型への転換	○
	重機は適切な出力及びアイドルリングストップを励行	○
節水活動※注4)	漏水定期確認	○
	散水時の使用を必要最小限に留める	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□運搬車の燃費の向上



□重機の燃費の向上



繁忙期により稼働時間が延びた為未達成となったので再度意識を高める為朝礼等で呼びかけを行った

6.環境経営目標及び実績/蒲田処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
廃棄物再資源化率の向上	%	80.00	82.40	73.07	70.50	72.16	73.45	72.30
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	24.00	23.28	9.09	5.74	8.11	8.33	31.27

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

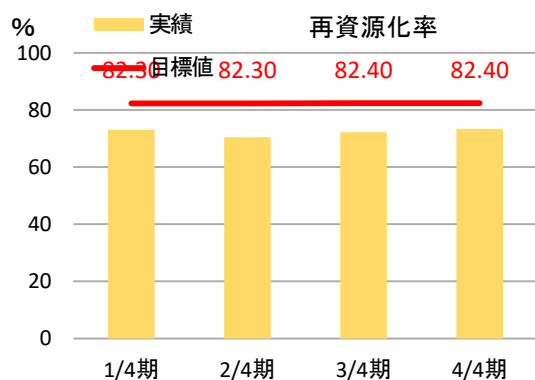
7.取組結果とその評価/蒲田処理センター

環境活動計画の取組項目

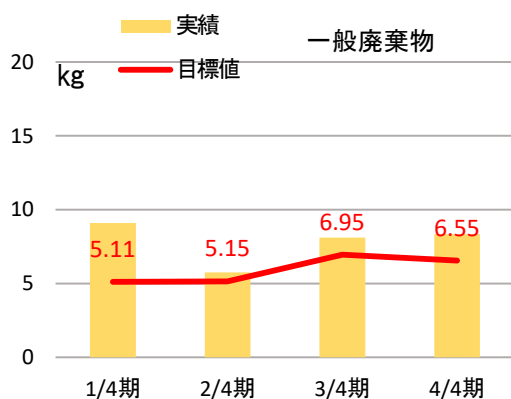
廃棄物再資源化	分別リサイクルの徹底	○
	作業手順書を作成し効率化を図る	○
	再資源化処理施設への搬入推進	○
一般廃棄物の削減	使い捨て製品（容器入り弁当等）の抑制	○
	備品の詰め替え、修理等による長期使用	○
	資源ごみの分別の徹底（数値）及び啓発	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□廃棄物再資源化率の向上



□事務所からの事業系一般廃棄物の削減



再資源及び一般廃棄物
共に未達成となった為
再度意識を高めるよう
呼びかけをおこなった

6.環境経営目標及び実績/蒲田処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
社内外の美化	回	280	280	69	70	73	68	280
化学物質購入量の把握	ℓ	購入量把握	購入量把握	420	485	420	495	1820

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【化学物質について】

使用量の把握が難しいため、購入量を把握することにより維持・管理しています

※注2) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注3) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

7.取組結果とその評価/蒲田処理センター

環境活動計画の取組項目

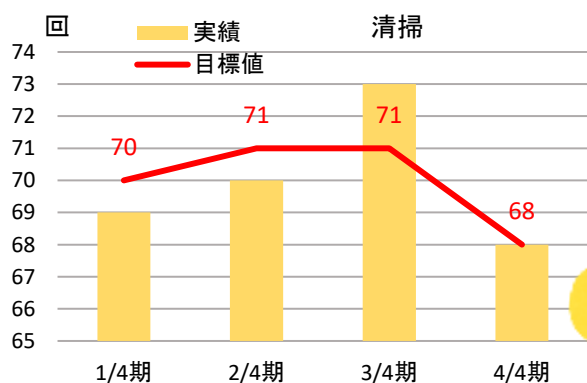
ふんじん発生	乾燥時には水まきを行う。	○
社内外の美化	作業手順書を作成し効率化を図る	○
アドブルー（尿素水）	アドブルーの購入量の把握	○
	SDS（安全データシート）による情報伝達	○

◎取組を行えた

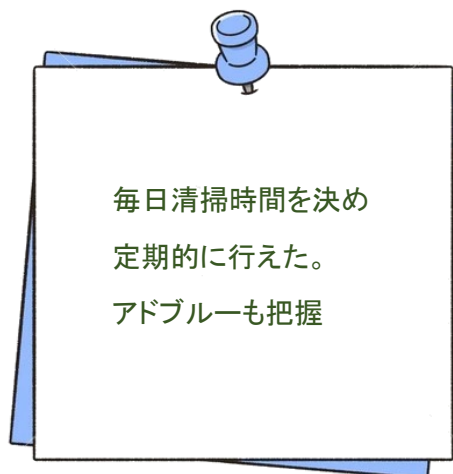
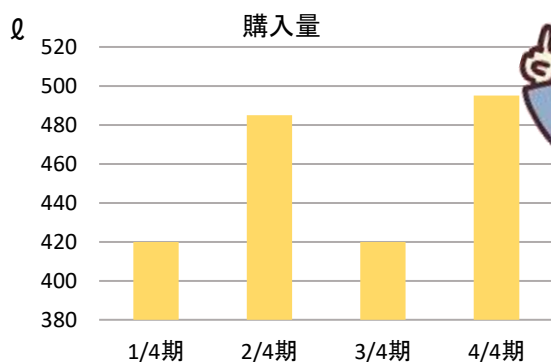
△取組が不十分

×取組を行えてない

□社内外の美化



□化学物資購入量の把握



6.環境経営目標及び実績/新宮リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	366,147	355,162.59	62,969.77	56,416.73	49,043.17	48,693.08	217,122.75
電力使用量の削減	kWh	216,858	210,352.26	37,844.00	33,339.00	36,325.00	34,126.00	141,634
ガス使用量の削減	Kg	1	0.97	0.80	0.40	0.70	3.60	5.50

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO2調整後排出係数 0.480kg-CO2 / kWh

7.取組結果とその評価/新宮リサイクルセンター

環境活動計画の取組項目

電気使用量削減	漏電定期確認	○
	室外機定期確認(※確認書必須)	○
	エアコンの温度と湿度管理	○
電力の削減 (作業場)	破碎機定期メンテナンスの徹底	○
	作業場内の機械、設備等の未使用時OFF	○
燃料の削減	ボイラーの点検、確認	○
	ボイラー使用時間の短縮	○

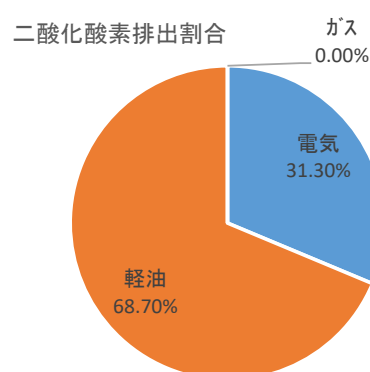
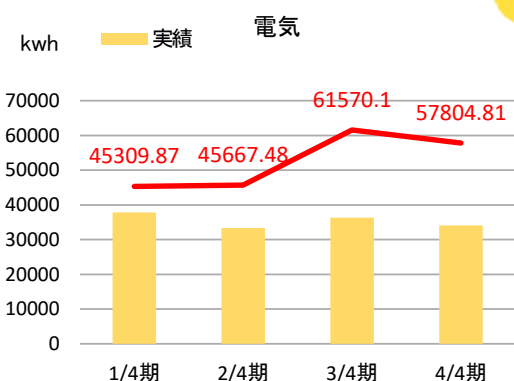
◎取組を行えた

△取組が不十分

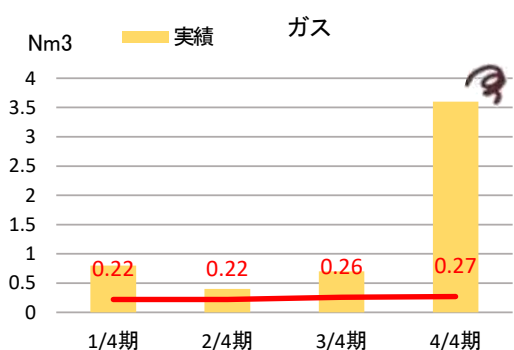
×取組を行えてない

□二酸化炭素排出量の削減及び取組の向上

□電力使用量の削減



□ガス使用量の削減



ガスは年間を通して未達となった。皆で原因を追求し、温水の使用に関し考えていく。

6.環境経営目標及び実績/新宮リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	27,605	26,776.85	6,908.21	5,565.88	2,545.03	2,191.08	17,210.20
	km/ℓ	2.61	2.69	2.79	2.69	2.14	3.47	2.77
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	74,743	72,500.71	10,457.00	10,098.00	9,705.00	10,329.00	40,589
	ℓ/h	7.49	7.27	7.75	7.80	6.86	6.32	7.18

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注3) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

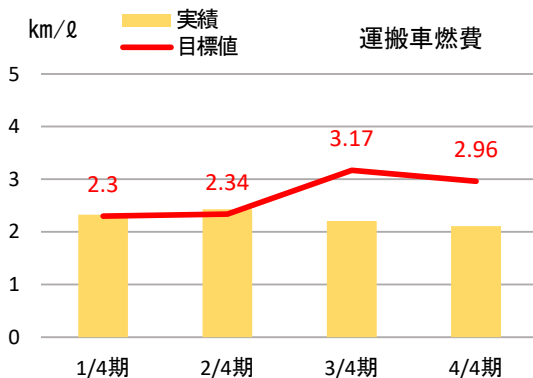
7.取組結果とその評価/新宮リサイクルセンター

環境活動計画の取組項目

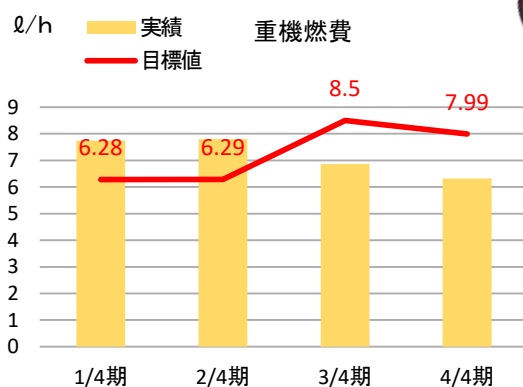
運搬車の 燃費の向上	車両管理（車両整備、点検等）の徹底	○
	運行管理の徹底(燃費管理)	○
	車両の過積載禁止及び法定速度を遵守等	○
重機の 燃費の向上	重機導入時における、低公害型への転換	△
	重機は適切な出力及びアイドリングストップを励行	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□運搬車の燃費の向上



□重機の燃費の向上



目標達成!



燃費に関しては、繁忙期もあり達成できない月もあったが、年間は何とか達成することができた。

6.環境経営目標及び実績/新宮リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	48.00	46.56	11.00	8.50	12.90	12.70	45.10
総排水量の削減※注4)	m3	1799.00	1745.03	164	153	140	139	596
社内外の美化	回	12	12	3	3	3	3	12
ふんじん発生の抑制	回	0	0	0	0	0	0	0

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注4) 排水量に関して工場内の散水は地域住民との協定書にふんじん飛散防止策として

明記しており一概に削減することが出来ない為 事務所での節水を心がけることを目標とする。

【水道使用量について】

☆古賀リサイクルセンターと水道水を共有しています。

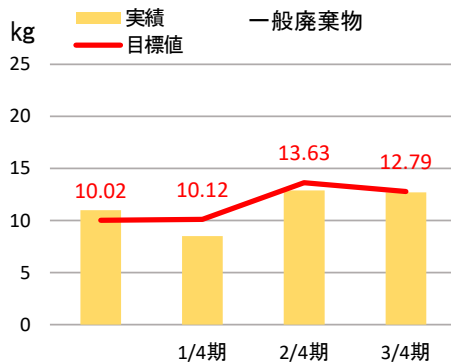
7.取組結果とその評価/新宮リサイクルセンター

環境活動計画の取組項目

一般廃棄物の削減	使い捨て製品の使用抑制及び再利用推進	○
	会議資料等の節減及び資料の電子化	△
	資源ごみの分別の徹底(数値)及び啓発	○
節水活動	漏水定期確認	○
	節水ホースの掲示及び使用量確認	○
	社内外の美化	○
ふんじんの抑制	県道からトラック搬入道の清掃活動	○
	乾燥時には水まきを行う。	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

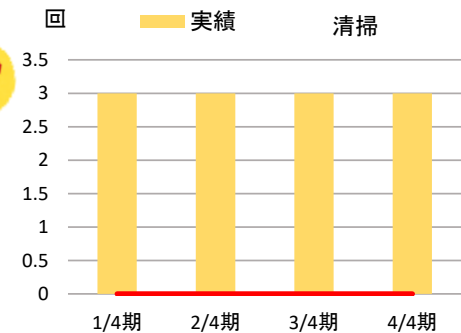
□事務所からの事業系一般廃棄物の削減



目標達成!



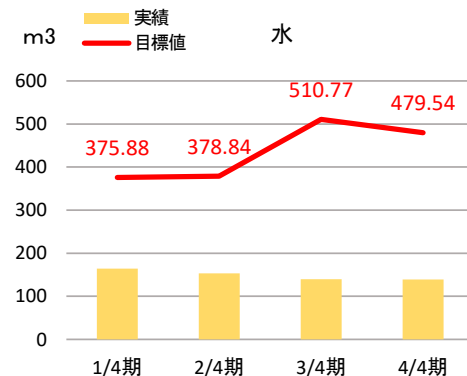
□社内外の美化



□再資源化率100%の維持

□ふんじん発生の抑制

□総排水量の削減



1/4期以外は年間を通して
目標値をクリアすることが
できた。来期も継続してゴミ
の減量に取り組む。

6.環境経営目標及び実績/新宮リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
受託した産業廃棄物の 再資源化率100%の維持	%	100	100	100	100	100	100	400
廃棄物再資源化率の向上 (新宮2)	%	97.44	100.36	100	100	100	100	400
化学物質購入量の把握	ℓ	—	数量把握	0	0	0	0	0

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

7.取組結果とその評価/新宮リサイクルセンター

環境活動計画の取組項目

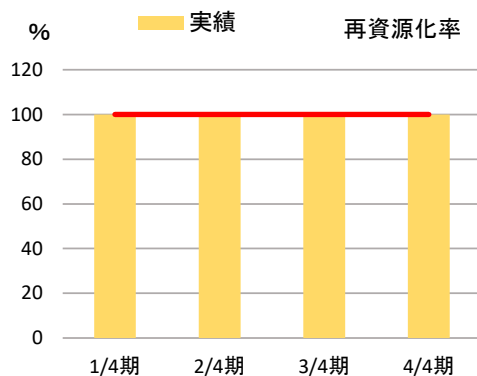
リサイクル100%	産業廃棄物受け入れ時の内容確認の徹底	○
廃棄物再資源化 (新宮②)	分別リサイクルの徹底	○
	作業手順書を作成し効率化を図る	○
	再資源化処理施設への搬入推進	○
アドブルー (尿素水)	アドブルーの購入量の把握	○
	SDS (安全データシート) による情報伝達	○

◎取組を行えた

△取組が不十分

×取組を行えてない

□廃棄物再資源化



目標達成!



搬入量の把握はできている。引き続き継続していく。
リサイクルも維持できるよう努める

6.環境経営目標及び実績/古賀処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	183,453	177,949.41	27,100.62	26,910.60	30,006.45	26,166.75	110,184.42
電力使用量の削減	kWh	103,744	100,631.68	21,678	22,255	20,841	22,264	87,038

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO₂調整後排出係数 0.480kg-CO₂ / kWh

7.取組結果とその評価/古賀処理センター

環境活動計画の取組項目

電気使用量削減	漏電定期確認	○
	室外機定期確認(※確認書必須)	○
	エアコンの温度と湿度管理	○
電力の削減 (作業場)	破碎機定期メンテナンスの徹底	○
	作業場内の機械、設備等の未使用時OFF	○

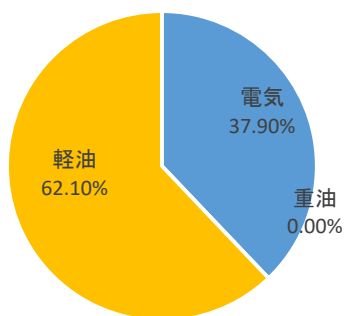
◎取組を行えた

△取組が不十分

×取組を行えてない

□二酸化炭素排出量の削減及び取組の向上

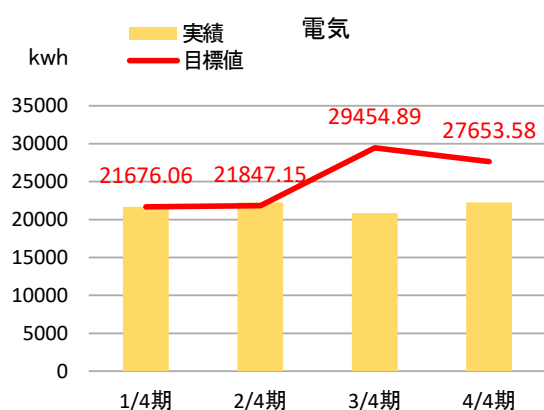
二酸化炭素排出割合



目標達成!



□電力使用量の削減



今期も目標を達成することができた。来季に向け、一年を通して環境目標を達成させるため、常に意識をしながら作業を行っていく。

6.環境経営目標及び実績/古賀処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間 の平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
運搬車の 燃費の向上 ※注2)	ℓ	67.00	64.99	0.00	0.00	381.01	130.01	511
	km/ℓ	0.15	0.15	0.00	0.00	2.79	0.91	0.93
重機の 燃費の向上 ※注3)	ℓ	13919.00	13501.43	6471.00	6290.00	7372.00	5870.00	26003
	ℓ/h	4.60	4.46	7.20	6.83	7.42	6.30	6.94
※注4) 再資源化率の向上	%	71.73	72.45	70.44	58.20	67.65	76.03	68.08

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注3) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

※注6) 再資源化率については令和5年度の実績を基準値とし
令和6年度の目標値(1%)とする

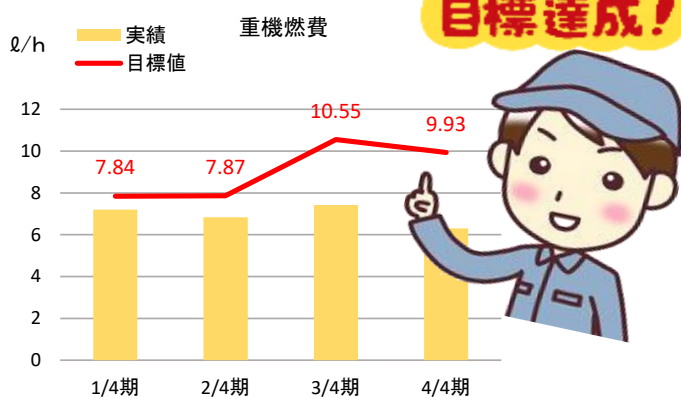
7.取組結果とその評価/古賀処理センター

環境活動計画の取組項目

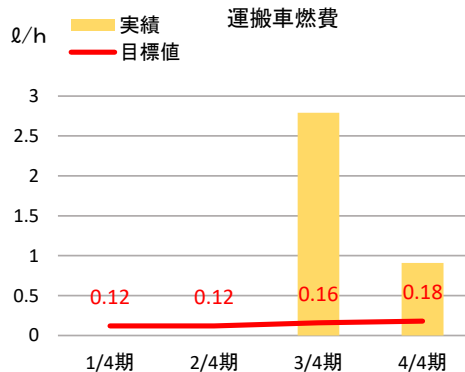
運搬車の 燃費の向上	車両管理（車両整備、点検等）の徹底	○
	運行管理の徹底(燃費管理)	○
	車両の過積載禁止及び法定速度を遵守等	○
重機の 燃費の向上	重機導入時における、低公害型への転換	△
	重機は適切な出力及びアイドリングストップを励行	○
再資源化率の向上	使い捨て製品（容器入り弁当等）の抑制	○
	備品の詰め替え、修理等による長期使用	○
	資源ごみの分別の徹底（数値）及び啓発	○

○取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

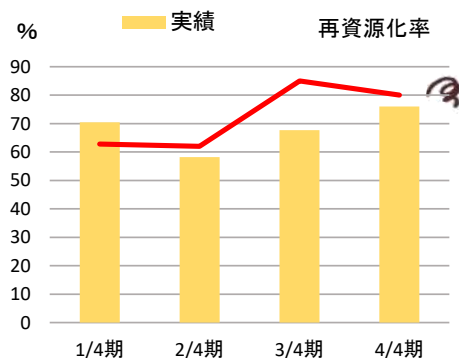
□重機の燃費の向上



□運搬車の燃費の向上



□廃棄物再資源化



燃費は達成することができたが廃棄物の処理量は減っておらず埋立物の受入れ量が多かった

6.環境経営目標及び実績/古賀処理センター

目標・項目※注1)	単位	直近3年間の 平均値	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(3%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	16.00	15.52	1.10	1.20	1.55	1.70	5.55
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	2	2	1.00	—	1.00	—	2
社内外の美化	回	12	12	3.00	3.00	3.00	3.00	12
稼働日あたりの再生水 の利用率の向上	%	-	-	-	-	-	-	-
燃え殻のリサイクル利用	%	-	-	-	-	-	-	-

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

【水道使用量について】

☆雨水を使用しています。

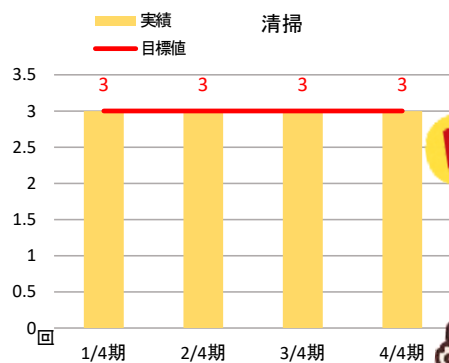
7.取組結果とその評価/古賀処理センター

環境活動計画の取組項目

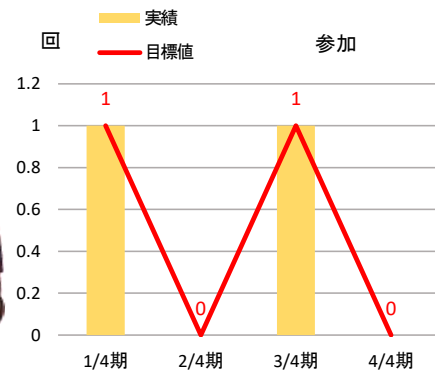
燃え殻のリサイクル	産業廃棄物受け入れ時の内容確認の徹底	—
	金属の回収	—
一般廃棄物の削減	使い捨て製品（容器入り弁当等）の抑制	○
	備品の詰め替え、修理等による長期使用	○
	資源ごみの分別の徹底（数値）及び啓発	○
環境保全に参加	地域自治会などの聞き取りを行い積極的に参加する	○
社内外の美化	県道からトラック搬入道の清掃活動	○
再生水の利用率	節水意識の啓発	○
	雨水の活用	—

◎取組を行った △取組が不十分 ×取組を行えてない

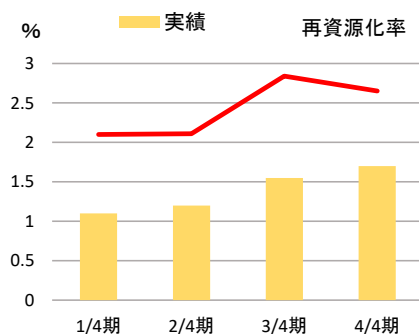
□社内外の美化



□環境保全に参加・貢献



□事務所からの事業系一般廃棄物の削減



社内美化、環境保全は今後も継続的に活動を行い、に努める。又ゴミの減量が継続してできている。

6.環境経営目標及び実績/古賀リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	令和5年度	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(1%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	142,484	141,059.16	15,827.10	15,640.38	16,773.36	14,695.08	62,935.92
電力使用量の削減	kWh	156,021	154,460.79	27,367	25,258	26,151	25,831	104,607

【目標値の設定について】

※注1) 令和5年度の負荷実績を基準値とし令和6年度の目標値(1%)とする

※注2) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO₂調整後排出係数 0.480kg-CO₂ / kWh

7.取組結果とその評価/古賀リサイクルセンター

環境活動計画の取組項目

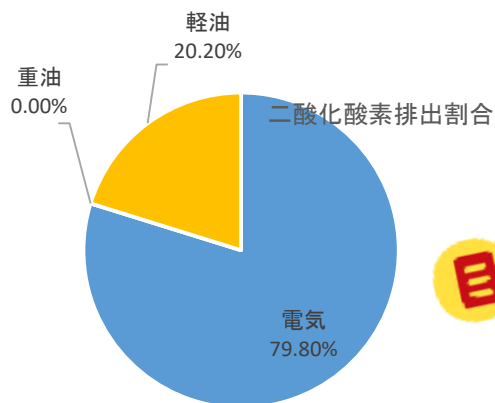
電気使用量削減	漏電定期確認	○
	室外機定期確認(※確認書必須)	○
	エアコンの温度と湿度管理	○
電力の削減 (作業場)	破碎機定期メンテナンスの徹底	○
	作業場内の機械、設備等の未使用時OFF	○

◎取組を行えた

△取組が不十分

×取組を行えてない

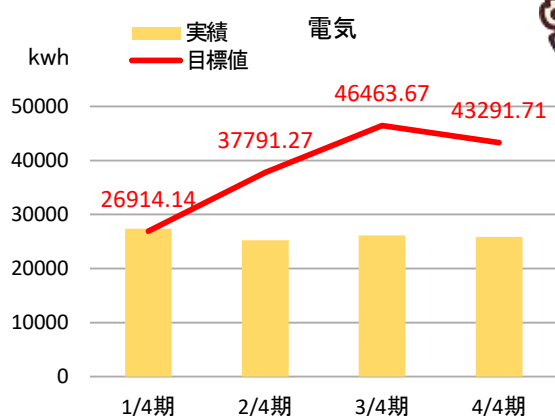
□二酸化炭素排出量の削減及び取組の向上



目標達成!



□電力使用量の削減



目標を達成することができた。
今後も引き続き呼びかけを
行い、意識を高めていく。

6.環境経営目標及び実績/古賀リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	令和5年度	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(1%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
運搬車の燃費の向上 ※注2)	ℓ	0	0	0	0	0	0	-
	km/ℓ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
重機の燃費の向上 ※注3)	ℓ	26,199	25,937.01	1,043	1,363	1,636	890	4,932
	ℓ/h	6.02	5.96	3.66	3.72	4.36	3.06	3.70
廃棄物再資源化率の向上	%	92.53	-	83.81	42.80	69.80	55.15	-

【目標値の設定について】

※注1) 令和5年度の負荷実績を基準値とし令和6年度の目標値(1%)とする

※注2) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注3) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO2調整後排出係数 0.480kg-CO2 / kWh

7.取組結果とその評価/古賀リサイクルセンター

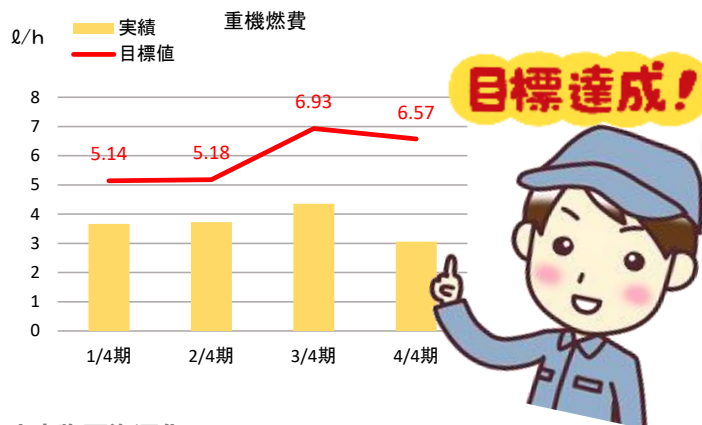
環境活動計画の取組項目

運搬車の燃費の向上	車両管理（車両整備、点検等）の徹底	—
	運行管理の徹底(燃費管理)	—
	車両の過積載禁止及び法定速度を遵守等	—
重機の燃費の向上	重機導入時における、低公害型への転換	○
	重機は適切な出力及びアイドルストップを励行	○
廃棄物再資源化	分別リサイクルの徹底	○
	作業手順書を作成し効率化を図る	○
	再資源化処理施設への搬入推進	○

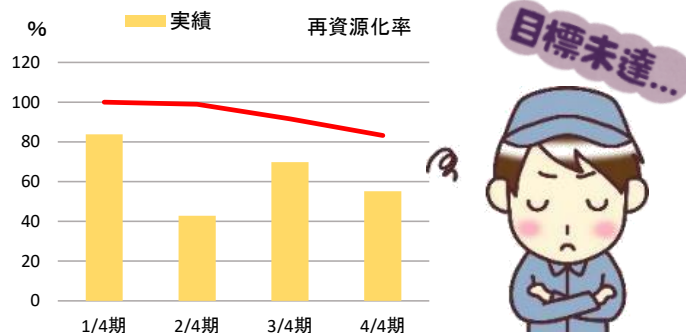
◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□運搬車の燃費の向上

□重機の燃費の向上



□廃棄物再資源化



再資源化に向かない
廃棄物の混入が多く
全ての搬入物が再
資源化できるよう方
法等を模索する。

6.環境経営目標及び実績/古賀リサイクルセンター

目標・項目※注1)	単位	令和5年度	令和6年度	令和6年度活動実績				年間実績
		基準	目標(2%)	1/4期	2/4期	3/4期	4/4期	
事務所からの事業系一般廃棄物の削減	kg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地域住民・地域企業の皆様の環境保全に参加・貢献	回	2	2	1	—	1	—	2
社内外の美化	回	12	12	3.00	3.00	3.00	3.00	12

【目標値の設定について】

※注1) 令和5年度の負荷実績を基準値とし令和6年度の目標値(1%)とする

※注2) ()は基準年度に対する増減率を示します

【電力換算値について】

九州電力2020年度の数値を使用しました

・CO2調整後排出係数 0.480kg-CO2 / kWh

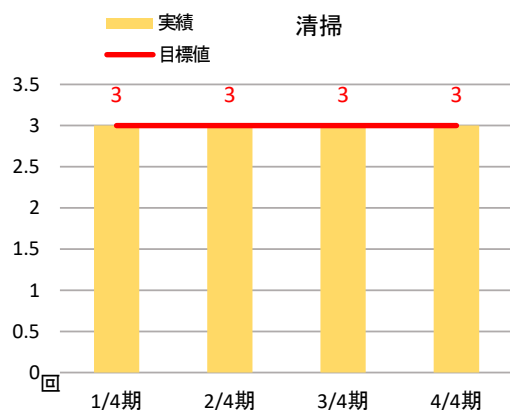
7.取組結果とその評価/古賀リサイクルセンター

環境活動計画の取組項目

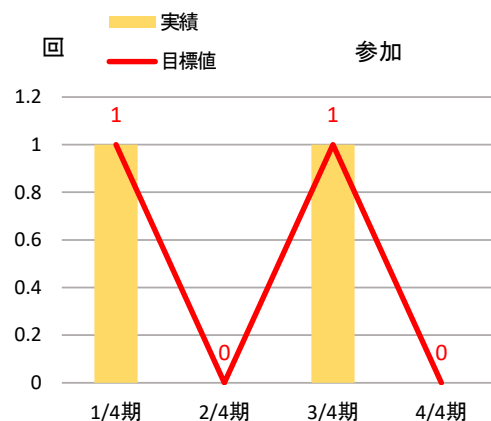
一般廃棄物の削減	使い捨て製品（容器入り弁当等）の抑制	○
	備品の詰め替え、修理等による長期使用	○
	資源ごみの分別の徹底（数値）及び啓発	○
環境保全に参加	地域自治会などの聞き取りを行い積極的に参加する	○
社内外の美化	県道からトラック搬入道の清掃活動	○

◎取組を行えた △取組が不十分 ×取組を行えてない

□社内外の美化



□環境保全に参加・貢献



目標達成!



達成することができた。
来年度も年間を通して目標を達成できるよう意識していく。

◆次年度環境経営目標/全社(CO₂)

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準値	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,978,700	1,976,721.30	1,974,742.60	1,972,763.90
本社	kg-CO ₂	7,605	7,597.40	7,589.79	7,582.19
管理センター	kg-CO ₂	715,042	714,326.96	713,611.92	712,896.88
蒲田処理センター	kg-CO ₂	790,315	789,524.69	788,734.37	787,944.06
新宮リサイクルセンター	kg-CO ₂	292,921	292,628.08	292,335.16	292,042.24
古賀処理センター	kg-CO ₂	151,839	151,687.16	151,535.32	151,383.48
※注3) 古賀リサイクルセンター	kg-CO ₂	102,710	102,607.29	102,504.58	102,401.87

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近《過去3年間》の平均値を使用しています。

※注3) 古賀リサイクルセンター基準値には直近《過去2年間》の平均値を使用しています。

◆次年度環境経営目標/本社

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準値	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	7,605	7,597.40	7,589.79	7,582.19
電力使用量の削減	kWh	15,834	15,818.17	15,802.33	15,786.50
ガス使用量の削減	kg	2.00	2.00	2.00	1.99
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	69.00	68.93	68.86	68.79
総排水量の削減	m ³	43.00	42.96	42.91	42.87
グリーン購入の推進及び 購入率の向上	%	64.00	64.06	64.13	64.19
社内外の美化	回	280	280	280	280

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近《過去3年間》の平均値を使用しています。

◆次年度環境経営目標/蒲田管理センター

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	715,042	714,326.96	713,611.92	712,896.87
電力使用量の削減	kWh	29,116	29,086.88	29,057.77	29,028.65
ガス使用量の削減	kg	2.00	2.00	2.00	1.99
営業車の 燃費の向上	ℓ	9,733	9,723.27	9,713.53	9,703.80
	km/ℓ	19.00	19.02	19.04	19.06
運搬車の 燃費の向上	ℓ	262,976	262,713.02	262,450.05	262,187.07
	km/ℓ	5.00	5.01	5.01	5.02
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	289.0	288.71	288.42	288.13
総排水量の削減	m ³	185	184.82	184.63	184.45
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	3	3	3	3
化学物質購入量の把握	—	購入量把握	購入量把握	購入量把握	購入量把握
工事部					
目標・項目	単位	直前3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
現場での分別、 廃棄物再資源化率の向上	%	31.07	31.10	31.13	31.16

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近《過去3年間》の平均値を使用しています。

※注3) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

【化学物質について】

※ 使用量の把握が難しいため、目標管理とせず購入量を把握することにより維持・管理しています

【工事部の総排出量について】

※総排出量を把握するため目標数値は立てず基準値のみとしています。

◆次年度 環境経営目標/蒲田処理センター

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	790,315	789,524.69	788,734.37	787,944.06
電力使用量の削減	kWh	89,885	89,795.12	89,705.23	89,615.35
運搬車の 燃費の向上	ℓ	116,101	115,984.90	115,868.80	115,752.70
	km/ℓ	2.20	2.20	2.20	2.21
重機の 燃費の向上	ℓ	172,606	172,433.39	172,260.79	172,088.18
	ℓ/h	7.84	7.83	7.82	7.82
廃棄物再資源化率の向上	%	80.00	80.08	80.16	80.24
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	34.00	33.97	33.93	33.90
ふんじん発生の抑制	回	0	0	0	0
社内外の美化	回	280	280	280	280
化学物質購入量の把握	—	購入量把握	購入量把握	購入量把握	購入量把握

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近《過去3年間》の平均値を使用しています。

※注3) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注4) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

【水道使用量について】

☆蒲田処理センターと蒲田管理センターの水道メーターが同じであるため数値目標を立てず活動のみとする

【化学物質について】

※ 使用量の把握が難しいため、目標管理とせず購入量を把握することにより維持・管理しています

◆次年度 環境経営目標/新宮リサイクルセンター

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	292,921	292,628.07	292,335.16	292,042.24
電力使用量の削減	kWh	166,591	166,424.41	166,257.82	166,091.23
ガス使用量の削減	kg	3.00	3.00	2.99	2.99
運搬車の 燃費の向上	ℓ	26,432	26,405.57	26,379.14	26,352.70
	km/ℓ	2.77	2.77	2.78	2.78
重機の 燃費の向上	ℓ	56,106	56,049.89	55,993.79	55,937.68
	ℓ/h	7.30	7.29	7.29	7.28
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	43.00	42.96	42.91	42.87
総排水量の削減	m ³	299	298.70	298.40	298.10
社内外の美化	回	12	12	12	12
ふんじん発生の抑制	回	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の 再資源化率100%の維持	%	100	100	100	100
廃棄物再資源化率の向上 (新宮2)	%	100.00	100.10	100.20	100.00
化学物質購入量の把握	—	購入量把握	購入量把握	購入量把握	購入量把握

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近「過去3年間」の平均値を使用しています。

※注3) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注4) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

※注5) 排水量に関して工場内の散水は地域住民との協定書にふんじん飛散防止策として明記しており一概に削減することが出来ない為 事務所での節水を心がけることを目標とする。

【化学物質について】

※ 使用量の把握が難しいため、目標管理とせず購入量を把握することにより維持・管理しています

【水道使用量について】

☆古賀リサイクルセンターと水道水を共有しています。

◆次年度 環境経営目標/古賀処理センター

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近3年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	151,839	151,687.16	151,535.32	151,383.48
電力使用量の削減	kWh	101,552	101450.45	101348.90	101247.34
運搬車の 燃費の向上	ℓ	170	169.83	169.66	169.49
	km/ℓ	0.15	0.15	0.15	0.15
重機の 燃費の向上	ℓ	39,789	39749.21	39709.42	39669.63
	ℓ/h	8.61	8.60	8.59	8.58
燃え殻のリサイクル利用	%	—	—	—	—
廃棄物再資源化率の向上	%	0.00	0.00	0.00	0.00
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	7	6.99	6.99	6.98
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	2	2	2	2
社内外の美化	回	12	12	12	12
稼働日あたりの再生水 の利用率の向上	%	—	—	—	—

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近《過去3年間》の平均値を使用しています。

※注3) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注4) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

※注5) 燃え殻リサイクル及び再生水については焼却施設休眠中の為、目標設定していません。

※注6) 再資源化率については令和5年度の実績を基準値とし令和6年度の目標値(1%)とする

【水道使用量について】

☆雨水を使用しています。

◆次年度 環境経営目標/古賀リサイクルセンター

1)中長期目標

目標・項目	単位	直近2年間の 平均値	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		基準	目標値(0.1%)	目標値(0.2%)	目標値(0.3%)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	102,710	102,607.29	102,504.58	102,401.87
電力使用量の削減	kWh	130,314	130183.69	130053.37	129923.06
運搬車の 燃費の向上	ℓ	0	0.00	0.00	0.00
	km/ℓ	0.00	0.00	0.00	0.00
重機の 燃費の向上	ℓ	15,566	15550.43	15534.87	15519.30
	ℓ/h	4.87	4.87	4.86	4.86
廃棄物再資源化率の向上	%	92.53	92.62	92.72	92.81
事務所からの事業系 一般廃棄物の削減	kg	0	0	0	0
地域住民・地域企業の皆様の 環境保全に参加・貢献	回	2	2	2	2
社内外の美化	回	12	12	12	12

【目標値の設定について】

※注1) ()は基準年度に対する増減率を示します

※注2) 基準値には直近《過去2年間》の平均値を使用しています。

※注3) km/ℓは1リッター当たりの走行距離を表したもので目標値に設定しています

※注4) ℓ/hは重機稼働1時間当たりの燃料消費量を表したもので目標値に設定しています

【水道使用量について】

☆新宮リサイクルセンターの水道水を使用しています。

◆次年度環境経営活動/全社

活動項目		対象事業所	内容
二酸化炭素排出量の削減	1) 電力の削減	全社	漏電定期確認
		全社	室外機定期確認(※確認書必須)
		全社	エアコンの温度と湿度管理や不必要な照明の消灯
		蒲田	選別機定期メンテナンスの徹底
		古賀	焼却炉定期メンテナンスの徹底
		新宮・古賀	破砕機・圧縮機定期メンテナンスの徹底
		蒲田・新宮・古賀	作業場内の機械、設備等の未使用時OFF
	2) 燃料の削減	本社・管理	湯沸かし器及びコンロの点検、確認
		本社・管理	湯沸かし器使用時間の短縮
		新宮	ボイラーの点検、確認
		新宮	ボイラー使用時間の短縮
	3) 燃費の向上	管理	車両購入時における低公害車への移行
		管理・蒲田・新宮・古賀	運行管理の徹底（燃費管理表作成及び消費燃料把握）
		管理・蒲田・新宮・古賀	車両管理（車両整備、点検等）の徹底
		蒲田・新宮・古賀	運搬車両の過積載禁止及び法定速度を遵守アイドリングストップを励行すること
		蒲田・新宮・古賀	重機導入時における、低公害型への転換
		蒲田・新宮・古賀	重機は適切な出力で運転しアイドリングストップを励行すること
	事務所からの一般廃棄物の削減	全社	使い捨て製品（紙、封筒、容器等）の使用抑制及び再利用を推進する
		全社	会議資料ペーパーレス化等でコピー用紙の節減や資料の電子化
		全社	資源ごみの分別の徹底（数値）及び啓発
	受託した産業廃棄物の再資源化率100%の維持	新宮	産業廃棄物受け入れ時の内容確認の徹底
	受託した産業廃棄物の再資源化率の向上	蒲田・工事・新宮・古賀	分別リサイクルの徹底
		蒲田・新宮・古賀	作業手順書を作成し効率化を図る
		蒲田・工事・新宮・古賀	再資源化処理施設への搬入推進
		新宮	廃棄物受入時の内容確認の徹底
	燃え殻のリサイクル利用	古賀	徹底した焼却炉の温度管理、時間帯毎の温度の記録
		古賀	適切な焼却物の投入
		古賀	再資源化処理施設への搬入推進
	ふんじん発生の抑制	蒲田・新宮	乾燥時には水まきを行う。
	総排水量の削減	本社・管理・蒲田・新宮	漏水定期確認
		本社・管理・蒲田・新宮	節水ポスターの掲示及び使用量確認
		蒲田	散水時の使用を必要最小限に留める
	稼働日あたりの再生水の利用率の向上	古賀	節水意識の啓発
		古賀	雨水の活用
	地域住民・地域企業の皆様の環境保全に参加・貢献	管理・古賀	地域住民との自治会参加及び場内見学
	グリーン購入の推進	本社	事務用品のグリーン購入法適用商品数を把握する
		本社	エコマーク商品、再生材料から作られた製品を積極的に購入
	社内外の美化	本社・蒲田・新宮・古賀	事務所及び社外周辺部での清掃活動の実施
	化学物質の使用	管理・蒲田・新宮	化学物質（AdBlue/尿素水）の購入量把握
		管理・蒲田・新宮	SDS（安全データシート）による情報伝達

環境・リスク コミュニケーション活動

自治会の皆様



早く知らせる



防災訓練の様子



早く消す

早く逃げる



清掃活動の様子



8.環境関連法規への違反、訴訟等の有

- 適用となる環境関連法規についてチェックした結果、違反はありませんでした。
関係機関から指摘や訴訟はありませんでした。

◆主な環境関連法規一覧◆

〔 廃棄物処理法、労働安全衛生法、建設リサイクル法、大気汚染防止法、フロン排出抑制法、消防法、振動・騒音規制法 など 〕

9.代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

《 変更の必要性和指示 》

- | | | | |
|---------------------|--------|----------------------------|---------------------------------------|
| ● 環境方針 | 変更の必要性 | ☐ 有 | ☒ 無 |
| 〔 変更の必要性はないと思います。 〕 | | | |
| ● 環境目標・環境活動計画 | 変更の必要性 | ☐ 有 | ☒ 無 |
| 〔 変更の必要性はないと思います。 〕 | | | |
| ● その他の環境経営システムの要素 | 変更の必要性 | ☐ 有 | ☒ 無 |
| 〔 変更の必要性はないと思います。 〕 | | | |

環境経営システムは機能出来ていると思います。

目標に対し数字の把握、達成への取り組みの確認を話し合い
経営面での効果も含め全社員同じベクトルで考え行動し
より意識を高めてるように思えます。

取組については、未達成の改善が思うようになされていない
ことから不十分であると考えます。

全施設共に高い意識を持ってより良い質を目指し
取り組んでもらいたいと思います。

代表取締役 坂本 達也